

LP-S8180 シリーズ
Epson Print Admin Serverless

導入・管理ガイド

目次

はじめに	4
本書について	4
マニュアルの見方	4
マークの意味	4
掲載画面	4
OS表記	4
マニュアルで使用する用語	5
認証方式の概要	7
本体認証	7
LDAPサーバー認証	7
本体認証とLDAPサーバー認証	7
みなし認証	7
システム条件	8
プリンター	8
クライアントコンピューター	9
セットアップの概要	10
セットアップに使うソフトウェア	10
Web Config	10
Epson Device Admin	11
認証方式による必要な設定	12
個別セットアップの流れ	12
一括セットアップの流れ	13
アプリケーションの機能差	15
認証装置の接続	18
認証装置を接続する	18
認証装置の接続確認	19
設定できる認証情報の読み取り方法	19
認証装置設定項目	20
認証装置、認証カード保存フォーマット設定項目	20

情報の登録とシステム設定	22
ライセンスキーの取得について	22
ライセンスキーの登録	22
Web Configでライセンスキーを登録する	22
Epson Device Adminでライセンスキーを登録する	23
設定テンプレートを新規作成する	24
ライセンスキーをインポートする	25
設定テンプレートを適用する	26
Web Configを使った個別設定	29
Epson Print Admin Serverless 設定メニューを使う	30
ユーザー認証設定をする (Web Config)	30
印刷ジョブを設定する (Web Config)	32
ユーザー情報の登録 (Web Config)	33
LDAPサーバーとの連携 (Web Config)	38
オプション機能の設定 (Web Config)	40
Epson Device Admin (設定テンプレート) を使った一括設定	43
Epson Device Admin (設定テンプレート) の操作概要	44
ユーザー認証設定をする (設定テンプレート)	46
認証装置を設定する (設定テンプレート)	46
印刷ジョブを設定する (設定テンプレート)	47
LDAPサーバーと連携する (設定テンプレート)	48
ユーザー情報の登録 (設定テンプレート)	52
その他の設定 (設定テンプレート)	56
クライアントコンピューターの設定	59
プリンタードライバのインストール	59
プリンタードライバの設定	59
Windowsドライバのユーザー設定	59
Mac OSドライバのユーザー設定	60
認証情報の接続形態について	61
運用・管理	62
管理者パスワードと管理者ロックの設定	62
Epson Device Adminを使ったユーザーレポート	62
ユーザーレポートを生成する	62
レポート出力の項目	67

Epson Device Adminを使ったプリンターの管理	68
Epson Print Admin Serverless 設定メニューを表示する	68
ユーザー情報のメンテナンス	69
Web Configを使ったプリンターの情報確認	73
メール通知とスナップショット	73
印刷ジョブを削除する	74
設定のバックアップ	75
Web Config設定	75
Epson Device Admin設定テンプレート	77
Epson Print Admin Serverlessの無効設定	78
Web Configから無効にする	79

困ったときは 81

認証カードが読めない	81
Web Configを開けない	81
Epson Print Admin Serverlessを有効にできない	81
ライセンスキーが期限切れと表示される	81
Epson Device Adminのレポートに内容がない	81

付録 83

プリンターのセキュリティー機能	83
プリンターに記録されるユーザー情報	83
商標	84

はじめに

本書について

本書は、Epson Print Admin Serverlessシステムの導入から日常のメンテナンスまでを説明しています。本書に記載されていない、プリンターの機能についてはプリンターのマニュアルをご覧ください。

マニュアルの見方

マークの意味

△ 注意 この内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

重要 必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を見逃して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。

参考 補足情報や参考情報を記載しています。

関連情報

➔ 関連したページにジャンプします。

掲載画面

機種や設定状況により画面の設定項目は異なることがあります。

OS表記

Windows

本書では、以下のOS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「Windows 10」「Windows 8.1」「Windows 8」「Windows 7」「Windows Vista」「Windows XP」「Windows Server 2019」「Windows Server 2016」「Windows Server 2012 R2」「Windows Server 2012」「Windows Server 2008 R2」「Windows Server 2008」「Windows Server 2003 R2」「Windows Server 2003」と表記しています。また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

- Microsoft® Windows® 10 operating system 日本語版

はじめに

- Microsoft® Windows® 8.1 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® 8 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® 7 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2019 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2016 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2012 R2 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2012 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2008 R2 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2008 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2003 R2 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2003 operating system 日本語版

Mac OS

本書では、「Mac OS X v10.7.0 以降」の総称として「Mac OS」を使用しています。

マニュアルで使用する用語

Epson Print Admin Serverless

プリンターを使うユーザーの認証をプリンター本体だけで行えるエプソン製のシステムです。

ライセンスキー

Epson Print Admin Serverlessを有効にするキーです。

ユーザーID

Epson Print Admin Serverlessの認証ユーザーの固有IDです。

ID 番号

ユーザーIDに関連付けられた4～8桁の数字です。

ユーザー情報

ユーザーID、パスワード、ID番号、メールアドレスなど、認証のためのユーザーに関する情報の総称です。

認証装置

ICカードリーダーなど本人を認識する情報を入力する装置です。

はじめに

システム管理者

企業や組織などでデバイスやネットワークに関して設置や設定をする権限を持つ人を指しています。小規模な組織ではネットワーク管理者、デバイス管理者を兼ねているケースがあります。大規模な組織では、部や課といった組織のグループ内のネットワークや機器に関しての権限を持つ人を指し、インターネットなど組織外への通信設定の権限はネットワーク管理者が担います。

LDAPサーバー

LDAPで通信できるディレクトリサービスを提供しているサーバーを指します。Windows ServerのActive DirectoryやLinuxのOpenLDAPなどがあります。

印刷ジョブ

クライアントコンピューターからプリンターに送信された印刷データです。

Unicode (UTF-8)

国際的な文字コード規格です。世界中の主な言語で主に使われる文字をカバーしています。「UTF-8」とある場合、UTF-8形式で符号化した文字を指します。

ASCII (アスキー、American Standard Code for Information Interchange)

標準的な文字コードの一つです。アルファベット (a-z、A-Z) やアラビア数字 (0-9)、記号、空白文字、制御文字などを収録した128文字が規定されています。本書で「ASCII文字」と表記している場合、下表にある0x20~0x7E (16進数) を指し、制御文字は含みません。

	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	0A	0B	0C	0D	0E	0F
20	SP*	!	"	#	\$	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
40	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[\]	^	_
60	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	

* 空白文字 (スペース) です。

認証方式の概要

Epson Print Admin Serverlessを使用すると、ネットワーク上のプリンター単体で認証できます。

本体認証

プリンター本体に登録されているユーザー情報と、印刷を利用するユーザーの情報を照合して認証します。ジョブの履歴にユーザー情報が結び付くため、ユーザーごとの使用状況を把握できます。

ユーザー情報は個別入力やCSVファイル、LDAPサーバーからインポートして登録した分を合わせて1000件まで登録できます。

あらかじめ本体にユーザー情報の登録が必要です。

LDAPサーバー認証

連携しているLDAPサーバーにユーザー情報を照合して認証します。LDAPサーバーのユーザー情報は1000件までプリンター本体にキャッシュとして一時的に保存されるため、LDAPサーバーの障害時にはキャッシュを使ったユーザー認証ができます。

あらかじめLDAPサーバーの設定が必要です。

本体認証とLDAPサーバー認証

プリンター本体に登録されているユーザー情報に加えて、連携しているLDAPサーバーにユーザー情報を照合して認証します。ユーザー情報の照合は、先にプリンター本体に登録されているユーザー情報を検索して、該当がなかった場合にLDAPサーバーを検索します。ユーザー情報は本体に1000件まで登録できます。空いている分はLDAPサーバーのキャッシュとして一時的に使用され、LDAPサーバーのユーザー情報が保存されます。LDAPサーバーの障害時にはこのキャッシュを使ったユーザー認証ができます。

あらかじめユーザー情報の登録と、LDAPサーバーの設定が必要です。

みなし認証

あらかじめプリンターに登録したIDカードのフォーマット情報を使って簡易的に認証します。認証情報には、IDカード内の企業名や組織名などプリンターを利用するユーザーに共通する情報のあるブロックを設定します。IDカードをかざすと、IDカード内の認証情報に該当するジョブを印刷できます。

個々のユーザー情報を使用しないため、ユーザー情報を利用した機能は使用できません。

プリンター本体へ個々のユーザー情報を登録しておく必要はありません。

システム条件

プリンター

HDD (オプション)

Epson Print Admin Serverlessを使用するには、オプションのハードディスクを装着する必要があります。オプションのハードディスクの取り付け方は『セットアップガイド』をご覧ください。

ファームウェア

ファームウェアバージョン：UP11LA (2021年10月11日) 以降

Web Config用ブラウザ

- Internet Explorer 9以降
- Microsoft Edge
- Google Chrome 最新版
- Mozilla Firefox 最新版
- Safari : Ver.6 以降

クライアントコンピューター

オペレーションシステム

- Windows :
 - Windows 10
 - Windows 8.1
 - Windows 8
 - Windows 7
 - Windows Vista
 - Windows XP
 - Windows XP Professional x64 Edition
 - Windows Server 2019
 - Windows Server 2016
 - Windows Server 2012 R2
 - Windows Server 2012
 - Windows Server 2008 R2
 - Windows Server 2008
 - Windows Server 2003 R2
 - Windows Server 2003
- Mac OS :
Mac OS X v10.7.0 以降

プリンタードライバー

- Windows : 機種用標準ドライバー (バージョン 3.01以降)
- Mac OS : 機種用標準ドライバー (バージョン 10.93以降)

セットアップの概要

一度に導入するプリンターの数やネットワーク環境によって、異なるセットアップ方法が選択できます。

セットアップに使うソフトウェア

セットアップに使うソフトウェアを紹介します。

Web Config

Web Configは、設定確認や変更がブラウザ上でできる、プリンター内蔵のWebページです。プリンターにネットワークから直接アクセスして操作するので、1台ずつセットアップする場合に適しています。



Web Configの起動

ネットワーク上のコンピューターやデバイスからブラウザを起動して、プリンターのIPアドレスを入力します。ブラウザのJavaScriptを有効にしてください。HTTPSアクセス時にプリンターが所有する自己署名証明書を使用するため、Web Configを起動するとブラウザに警告が表示されますが、問題ありません。

- HTTPSアクセス
IPv4 : https://プリンターのIPアドレス
IPv6 : https://[プリンターのIPアドレス]

セットアップの概要

- HTTPアクセス
IPv4 : http://プリンターのIPアドレス
IPv6 : http://[プリンターのIPアドレス]

記入例

- IPv4:
https://192.0.2.111/
http://192.0.2.111/
• IPv6:
https://[2001:db8::1000:1]/
http://[2001:db8::1000:1]/

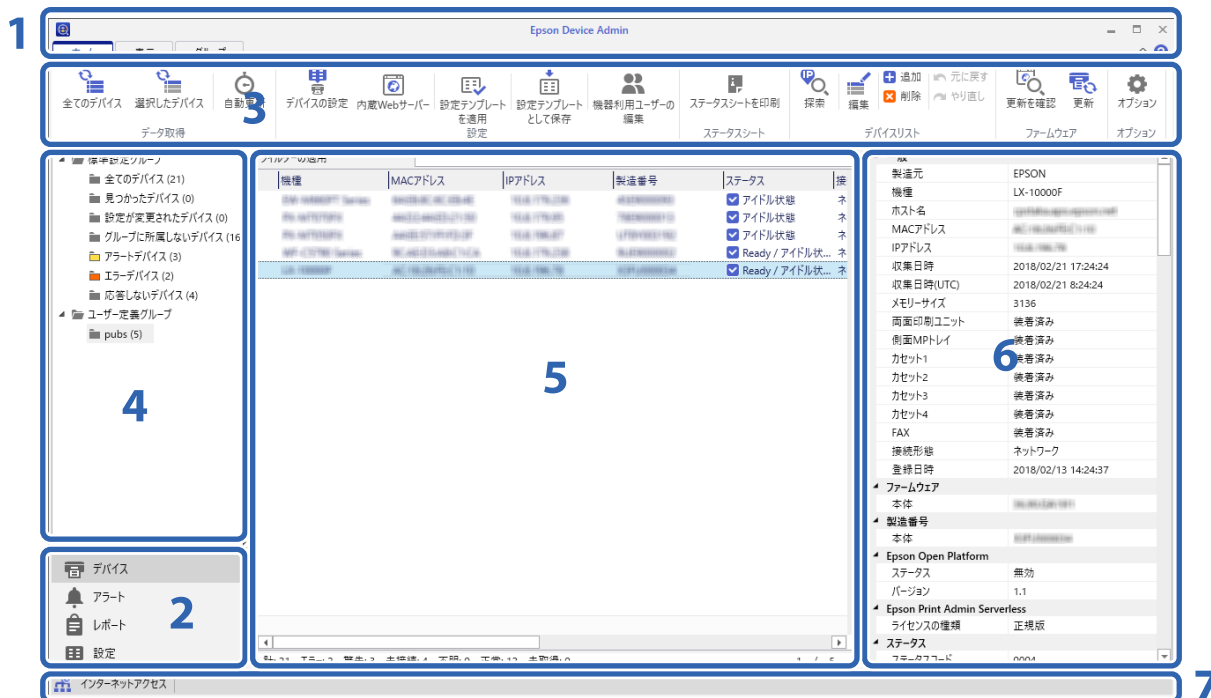
参考 DNSにプリンター名を登録すると、IPアドレスの代わりにプリンター名が使用できます。

Epson Device Admin

Epson Device Adminは、ネットワーク上のデバイスを管理するアプリケーションソフトです。以下のような機能があるため、複数のプリンターを導入、管理する場合に適しています。


- セグメントを越えた複数のプリンターに統一した設定値を適用する
- 使用履歴やジョブ履歴などの詳細なレポートを出力する

Epson Device Adminはエプソンのウェブサイトからダウンロードしてください。詳細はEpson Device Adminのヘルプやマニュアルをご覧ください。



Epson Device Adminのトップ画面は以下のペインで構成されています。
トップ画面はサイドバータスクメニューで選択されている項目に応じて表示が切り替わります。

セットアップの概要

番号	ペイン	説明
1	タイトルバー	 をクリックすると、Epson Device Adminの各項目の説明が記載されたHelpが起動します。
2	サイドバータスクメニュー	使用する機能を切り替えます。選択した項目に従って画面全体が切り替わります。
3	リボンメニュー	サイドバータスクメニューで選択されている機能のメニューが表示されます。
4	サイドバーコンテンツ	サイドバータスクメニューで選択されている機能のツリー構造が表示されます。
5	表示ビュー	サイドバータスクメニュー、サイドバーコンテンツで選択されている機能に応じた情報や設定内容などが表示されます。
6	デバイス詳細情報	サイドバータスクメニューで [デバイス] が選択されているとき、デバイスリストで選択しているデバイスの詳細が表示されます。
7	ステータスバー	サイドバータスクメニューで [デバイス] が選択されているとき、デバイスリストのステータス情報が表示されます。

認証方式による必要な設定

認証方式によって必要な設定が異なります。下表を参照して、設定を行ってください。

設定	本体認証	LDAPサーバー認証	本体認証とLDAPサーバー認証	みなし認証
ライセンスキーの登録	○	○	○	○
認証装置の接続、設定	○*	○*	○*	○
ユーザー認証設定	○	○	○	○
印刷ジョブ設定	○	○	○	○
利用者制限設定	○	○	○	○
LDAPサーバーの設定	×	○	○	×
ユーザー情報登録	○	×	○	×

* : 認証手段に [認証カードまたはユーザーIDとパスワード]、[認証カードまたはID番号] を選択する場合

個別セットアップの流れ

プリンターにEpson Print Admin Serverlessを1台ずつセットアップする流れを説明します。Web Configを使うとブラウザだけでセットアップできます。

セットアップの概要

！重要

設定を始める前にプリンターの時刻設定が正しいか確認してください。

時刻設定が正しくないと「ライセンスが期限切れです」というエラーメッセージが表示され、Epson Print Admin Serverlessのセットアップができなくなります。また、SSL/TLS通信やIPsecなどセキュリティー機能を使用する場合も正しい時刻設定が必要です。時刻は以下から設定できます。

- Web Config： [デバイス管理] タブ - [日付/時刻] - [日付/時刻]
- プリンターの操作パネル： [設定] - [本体設定] - [基本設定] - [日付/時刻設定]

手順		作業概要	内容
1	認証装置の接続*1	プリンターへの認証装置の接続/動作確認	認証装置をプリンターに接続します。
2	日付/時刻設定	日付と時刻の設定	正しい日付と時刻をプリンターに設定します。
3	ライセンスキーの登録*2	ライセンスキーの入力	Web Configを使って、プリンターのEpson Print Admin Serverlessを有効にします。
4	Epson Print Admin Serverlessを設定する	認証印刷の設定	認証方式と認証手段を設定します。
		印刷ジョブ設定	印刷ジョブの保存や削除に関する設定をします。
		ユーザー情報の登録	ユーザー情報を登録します。 認証方式によって以下を設定します。 <ul style="list-style-type: none">• LDAPサーバー連携設定• ファイルからのインポート
		任意機能の設定	設定した認証方式や認証手段に応じて、認証装置の設定など、任意で使用する機能を設定します。
5	クライアントコンピューターの設定	プリンタードライバーのインストール、ユーザーIDの登録	クライアントコンピューターにインストールしたプリンタードライバーに、認証で使用するユーザーIDを設定します。

*1 : 認証装置による認証方式を使用する場合に設定します。

*2 : 販売店等によって設定済みの場合があります。

関連情報

- ➔ [「Web Configを使った個別設定」 29ページ](#)
- ➔ [「クライアントコンピューターの設定」 59ページ](#)

一括セットアップの流れ

複数のプリンターにEpson Print Admin Serverlessをセットアップする流れを説明します。Epson Device Adminの設定テンプレートを使うと効率よくセットアップできます。

セットアップの概要

重要

設定を始める前にプリンターの時刻設定が正しいか確認してください。

時刻設定が正しくないとログやレポートの記録時刻が不正確になり、不正使用や情報漏えいなどの追跡が困難になります。また、SSL/TLS通信やIPsecなどセキュリティー機能を使用する場合も正しい時刻設定が必要です。時刻は以下から設定できます。

- Web Config： [デバイス管理] タブ - [日付/時刻] - [日付/時刻]
- プリンターの操作パネル： [設定] - [本体設定] - [基本設定] - [日付/時刻設定]

手順		作業概要	内容
1	認証装置の接続*1	ケーブル接続/動作確認	認証装置をプリンターに接続します。
2	日付/時刻設定	日付と時刻の設定	正しい日付と時刻をプリンターに設定します。
3	ライセンスキーの登録*2	設定テンプレートの新規作成	設定テンプレートを使って、複数のプリンターのEpson Print Admin Serverlessを有効にします。
		ライセンスキーのインポート	
		設定テンプレートの適用	
4	Epson Print Admin Serverlessの設定	設定テンプレートの編集、または新規作成	設定テンプレートを編集または新規作成します。
		認証印刷の設定	認証方式と認証手段を設定します。
		印刷ジョブ設定	印刷ジョブの保存や削除に関する設定をします。
		任意機能の設定	設定した認証方式や認証手段に応じて、認証装置の設定など、任意で使用する機能を設定します。
		ユーザー情報の登録	ユーザー情報を登録します。 認証方式によって以下を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • LDAPサーバー連携設定 • ファイルやLDAPサーバーからのインポート
5	クライアントコンピューターの設定	プリンタードライバーのインストール、ユーザーIDの登録	クライアントコンピューターにインストールしたプリンタードライバーに、認証で使用するユーザーIDを設定します。
		設定テンプレートの適用	設定テンプレートをプリンターに適用します。

*1 : 認証装置による認証方式を使用する場合に設定します。

*2 : 販売店等によって設定済みの場合があります。

関連情報

➔ [「Epson Device Admin \(設定テンプレート\) を使った一括設定」 43ページ](#)

➔ [「クライアントコンピューターの設定」 59ページ](#)

アプリケーションの機能差

それぞれのアプリケーションソフトで設定できる項目です。（○=設定可、×=設定不可）
 プロダクトキー/ライセンスキー

項目	Web Config	Epson Device Admin
Epson Open Platformバージョン	○	○
プロダクトキー/ライセンスキー	○	○

認証設定

項目	Web Config	Epson Device Admin
認証方式	○	○
認証手段	○	○
ユーザーによるカード登録を許可する	○	○
ID番号の最小桁数	○	○
LDAPサーバー認証ユーザーのキャッシュ	○	○

印刷ジョブ

項目	Web Config	Epson Device Admin
有効期間 (0-720 時間)	○	○
履歴に記録するユーザー名	○	○
プリンターに蓄積せずに印刷	○	○
印刷ジョブの全削除	○	×

ユーザー設定

項目	Web Config	Epson Device Admin
ユーザーID	○	○
ユーザー表示名	○	○
パスワード	○	○
認証カードID	○	○
ID番号	○	○
部門	○	○
機能制限	○	○

セットアップの概要

利用者制限設定

項目	Web Config	Epson Device Admin
利用者制限を有効にする	○	○
コンピューターからの認証情報を持たない印刷/スキャンを許可する	○	○
登録ユーザーのWeb Configログオンを許可する	○	×

認証装置

項目	Web Config	Epson Device Admin
Vendor ID	○	○
Product ID	○	○
動作パラメーター	○	○
認証装置	○	○
認証カードID保存フォーマット	○	○
認証カードIDの読み取り設定をする	○	○
開始文字位置	○	○
文字数	○	○

LDAPサーバー > 検索設定

項目	Web Config	Epson Device Admin
検索開始位置(DN)	○	○
ユーザーID属性	○	○
ユーザー表示名属性	○	○
部門属性	○	○
ID番号属性	○	○
認証カードID属性	○	○

レポート

項目	Web Config	Epson Device Admin
ユーザー単位の利用レポート	×	○
部門単位の利用レポート*1	×	○

セットアップの概要

項目	Web Config	Epson Device Admin
ジョブ履歴	×	○

*1 : 認証方式で [みなし認証] を選択している場合や、印刷ジョブをプリンターに蓄積しないで印刷した場合、部門別の集計はできません。

関連情報

- ➔ [「Web Configを使った個別設定」 29ページ](#)
- ➔ [「Epson Device Admin（設定テンプレート）を使った一括設定」 43ページ](#)

認証装置の接続

ユーザー認証用の装置を接続して設定します。認証装置を使わない場合は必要ありません。

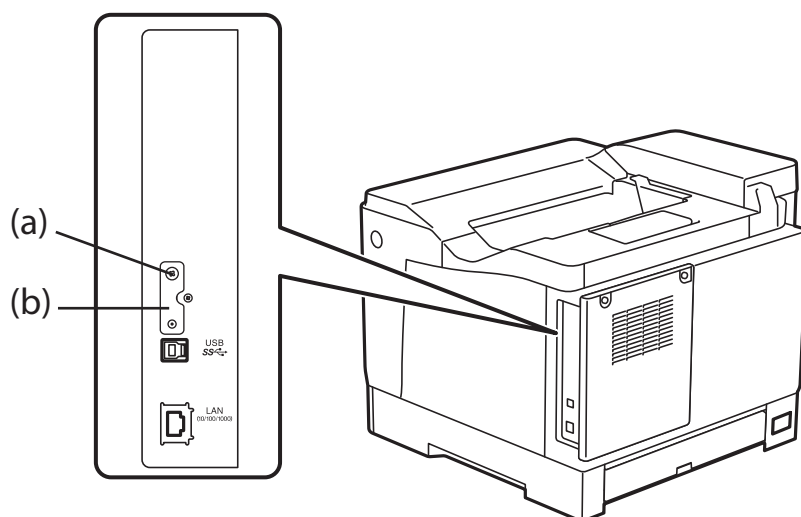
参考 ICカードリーダー以外の認証装置の対応状況は販売店にお問合せください。

認証装置を接続する

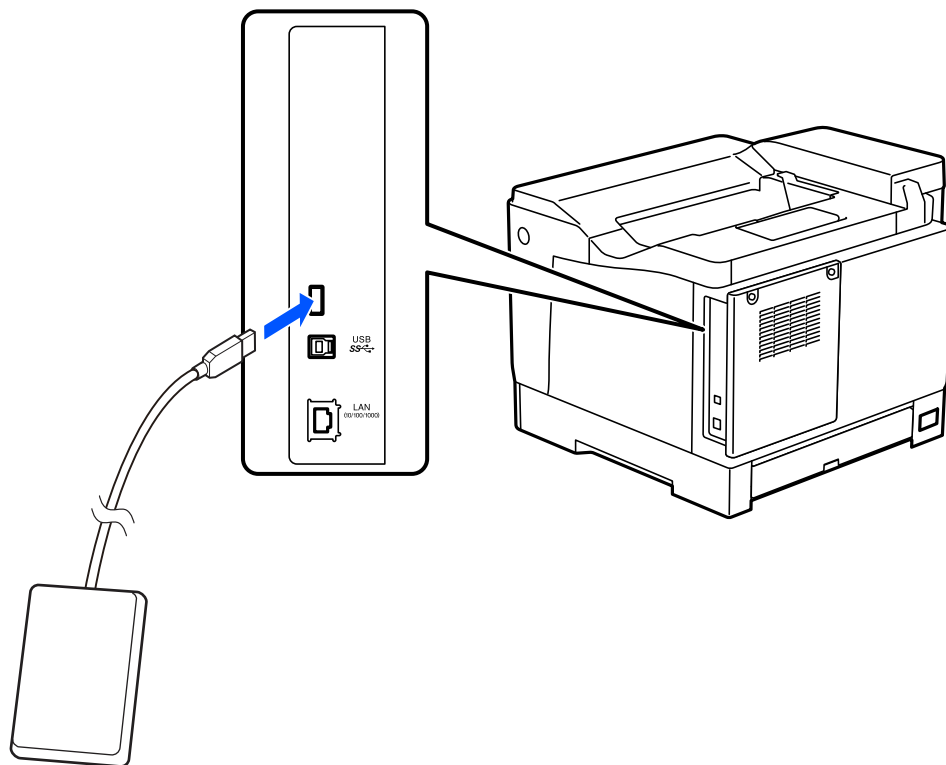
認証装置をUSB ケーブルで接続します。

注意 • プリンターに接続する認証装置は、認証カードを認証した認証装置と同じ型番の製品を使用してください。認証装置の種類が異なるとログオンできないことがあります。

1. ドライバーを使用してネジ (a) を外し、カバー (b) を取ります。



2. 認証装置のUSB ケーブルをプリンターに接続します。



認証装置の接続確認

認証装置の接続状態や認証カードの認識状態は以下で確認できます。

- 操作パネル
[設定] - [認証装置ステータス] を選択すると状態が表示されます。
- プリンター情報シート
[ハードウェア環境] - [H/W] - [認証装置ステータス] に状態が表示されます。
プリンター情報シートの印刷方法は、プリンターのマニュアルをご覧ください。

設定できる認証情報の読み取り方法

認証装置からの読み取りには、以下の方法が指定できます。

Web ConfigまたはEpson Device Adminを使ってプリンターに設定します。

設定は以下のような場合に必要です。

- 社員番号や個人IDなど、カード内の特定の情報を読み出す
- UID（製造番号などカードのID情報）以外のカード情報を使用する
動作パラメーター生成など読み取り設定は専用ツールで生成できます。詳しくは販売店にお尋ねください。
- 認証方式で「みなし認証」を使う



メーカーが違う認証カードの使用について：

カード情報のUID（製造番号などカードのID情報）を使用する場合は、複数の種類の認証カードを混在して使用できます。それ以外のカード情報を使用する場合は混在できません。

認証装置設定項目

項目		説明
Vendor ID		使用を限定する認証装置のVendor IDを4桁の英数字を使って0000～FFFFで設定します。 限定しないときは0000を設定してください。
Product ID		使用を限定する認証装置のProduct IDを4桁の英数字を使って0000～FFFFで設定します。 限定しないときは0000を設定してください。
動作パラメーター		認証装置の動作パラメーターを0～8192文字以内で設定します。 A～Z、a～z、0～9、+、/、=、半角スペース、改行が使用できません。
Epson Print Admin Serverless	認証装置	認証装置の変換フォーマットを選択します。
	認証カードID保存フォーマット	IDカードにある認証情報の変換フォーマットを選択します。
	認証カードIDの読み取り設定をする	読み取り位置の指定を有効にします。
	開始文字位置	ID情報の読み取り開始文字の位置を指定します。1～4096まで指定できます。
	文字数	ID情報の読み取り開始位置から何文字分まで読み取るかを指定します。 1～4096まで指定できます。

認証装置、認証カード保存フォーマット設定項目

形式	説明
フォーマット1 (デフォルト)	バイナリー値を16進数として出力
フォーマット2	バイナリー値の上位下位バイトを入れ替えた値を16進数として出力
フォーマット3	ビット換算で上位下位ビットを入れ替えた値を16進数として出力
フォーマット4	バイナリー値を10進数として出力
フォーマット5	バイナリー値の上位下位バイトを入れ替えた値を10進数として出力
フォーマット6	ビット換算で上位下位ビットを入れ替えた値を10進数として出力
フォーマット7	バイナリー値を16進数のASCII文字列として出力

認証装置の接続

形式	説明
フォーマット8	バイナリー値の上位下位バイトを入れ替えた値を16進数のASCII文字列として出力
フォーマット9	ビット換算で上位下位ビットを入れ替えた値を16進数のASCII文字列として出力
フォーマット10	バイナリー値を10進数のASCII文字列として出力
フォーマット11	バイナリー値の上位下位バイトを入れ替えた値を10進数のASCII文字列として出力
フォーマット12	ビット換算で上位下位ビットを入れ替えた値を10進数のASCII文字列として出力
フォーマット13	バイナリー値をASCII文字列として出力

関連情報

- ➔ [「認証装置を設定する \(Web Config\)」 42ページ](#)
- ➔ [「認証装置を設定する \(設定テンプレート\)」 46ページ](#)

情報の登録とシステム設定

Epson Print Admin Serverlessの導入に必要な項目を設定します。
個別に設定する場合はWeb Configを使います。Epson Device Adminを使うと複数のプリンターを一度に設定できます。

関連情報

- ➔ [「Web Configでライセンスキーを登録する」 22ページ](#)
- ➔ [「Epson Device Adminでライセンスキーを登録する」 23ページ](#)
- ➔ [「Web Configを使った個別設定」 29ページ](#)
- ➔ [「Epson Device Admin \(設定テンプレート\) を使った一括設定」 43ページ](#)

ライセンスキーの取得について

Epson Print Admin Serverlessを使用するにはライセンスキーの取得が必要です。
ライセンスキーの種類や取得方法などの詳細は販売店にお問い合わせください。

ライセンスキーの登録

ライセンスキーをプリンターに登録してEpson Print Admin Serverlessを有効にします。

参考 ライセンスキーは、販売店などによって既に登録されている場合があります。その場合はEpson Print Admin Serverlessの設定へ進んでください。

Web Configでライセンスキーを登録する

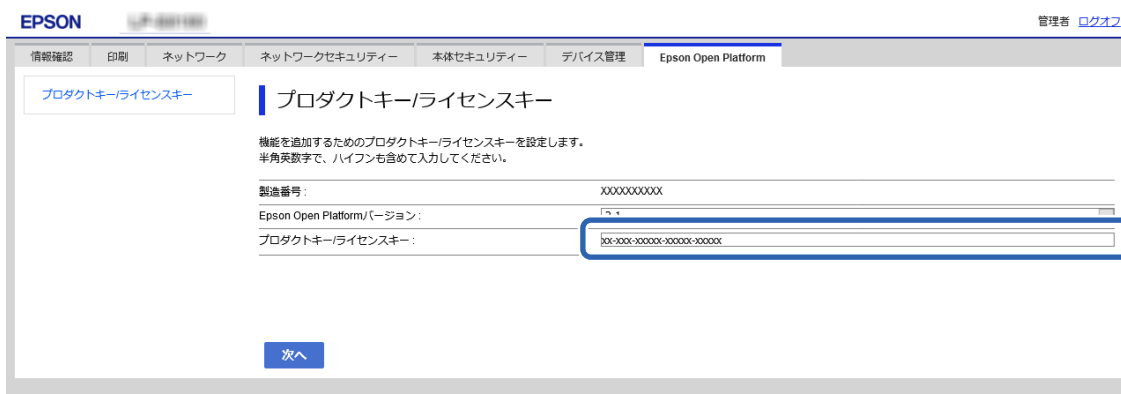
個別に設定する場合はWeb Configを使います。

- 以下のいずれかの方法でプリンターとセットアップ用コンピューターを接続します。
 - 有線または無線 LAN で接続
有線または無線 LAN で接続する場合は、セットアップ用コンピューターと同じネットワークに接続してください。
 - LAN ケーブルで直接接続
- プリンターの電源を入れます。
- セットアップ用コンピューターでウェブブラウザを開き、"https://<epsondevice-IP>"と入力してプリンターのWeb Configを開きます。
IPアドレスが192.168.111.10の場合：https://192.168.111.10
IP アドレスは操作パネルから確認できます。

詳しくはプリンターのマニュアルをご覧ください。

- 参考** SSL 通信 (https) で管理者ログインページにアクセスすると、「この Web サイトのセキュリティ証明書には問題があります。」の警告ページが表示されることがあります。
これは Web サイトで自己署名証明書を利用してブラウザが SSL 暗号化通信を行おうとしているために起こります。「このサイトの閲覧を続行する (奨励されません)。」をクリックしてください。このエラーを表示しないためには、信頼された証明書を使用してください。

- [Epson Open Platform] タブ - [プロダクトキー/ライセンスキー] の順に選択します。
- [プロダクトキー/ライセンスキー] にライセンスキーを入力します。



- [次へ] をクリックします。
- [設定] をクリックします。

少し時間を置いてから [メニューを更新] をクリックして Web Config の表示を更新します。
ライセンス情報が表示されていれば [Epson Print Admin Serverless] は有効です。



Epson Device Adminでライセンスキーを登録する

Epson Device Admin の設定テンプレートを使うと、CSV ファイルに記載した複数のライセンスキーを複数のプリンターに一度に適用できます。

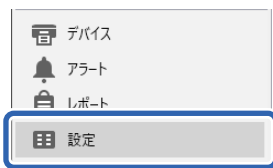
- 設定テンプレートを新規作成します。

2. 設定テンプレートにライセンスキーを読み込みます。
3. 設定テンプレートを目的のプリンターに適用します。

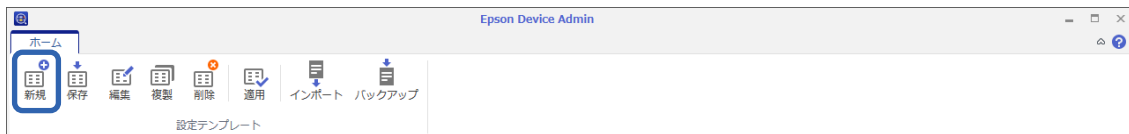
設定テンプレートを新規作成する

設定テンプレートを新規で作成します。

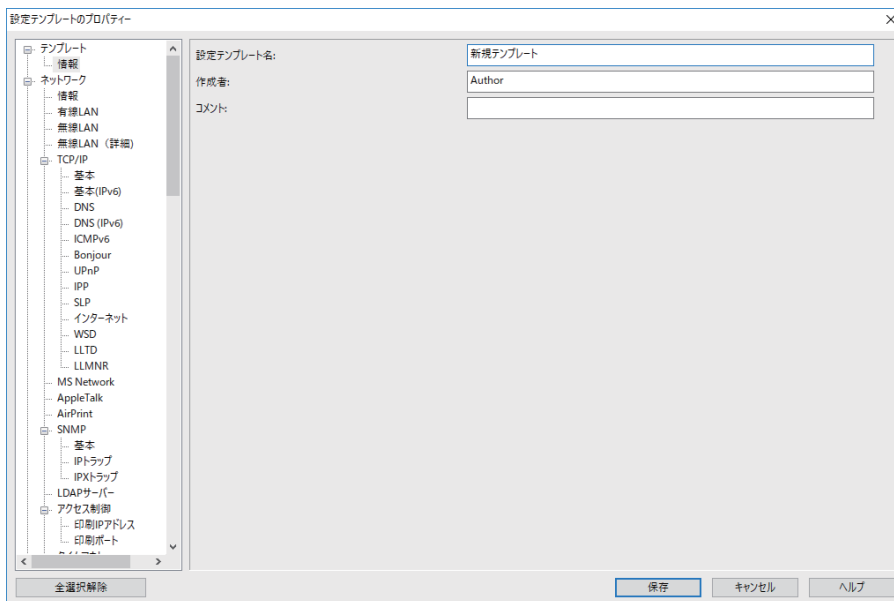
1. Epson Device Adminを起動します。
2. サイドバタスクメニューで「設定」を選択します。



3. リボンメニューで「新規」を選択します。



4. 各項目を設定します。



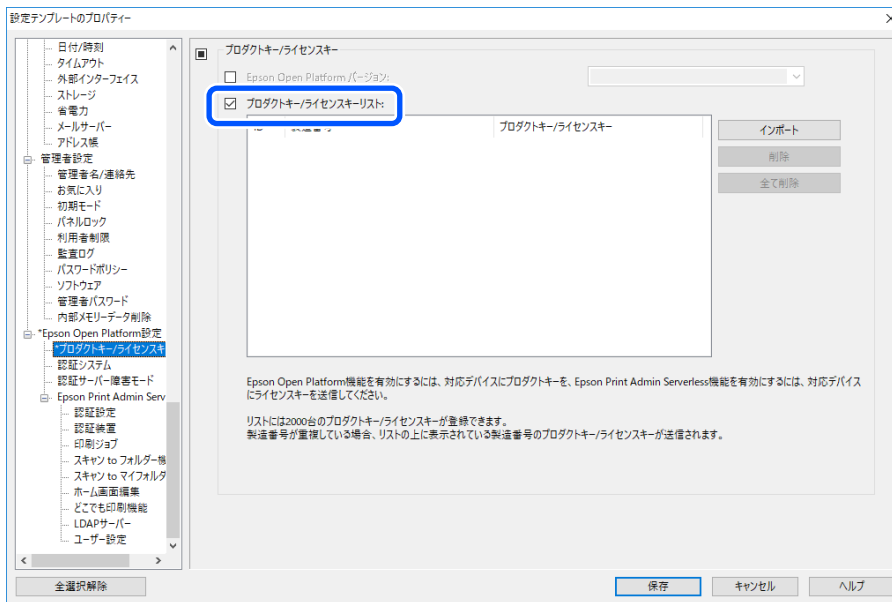
項目	説明
設定テンプレート名	設定テンプレートの名称です。 Unicode (UTF-8) で表せる文字で、1024文字以内で入力します。
作成者	テンプレートの作成者情報です。 Unicode (UTF-8) で表せる文字で、1024文字以内で入力します。
コメント	任意の情報を入力します。 Unicode (UTF-8) で表せる文字で、1024文字以内で入力します。

5. 左のメニューから設定したい機能を選択します。

参考 左のメニュー項目をクリックするとそれぞれの画面に切り替わります。設定した値は、キャンセルしなければ画面を切り替えても保持されます。全ての項目の設定が終了してから [保存] をクリックしてください。

ライセンスキーをインポートする

1. 設定テンプレートから、[Epson Open Platform設定] - [プロダクトキー/ライセンスキー] を選択します。
2. [プロダクトキー/ライセンスキーリスト] にチェックを付けます。
[Epson Open Platform バージョン] にチェックが付いている場合は外します。



3. [インポート] をクリックします。
4. ライセンスキーのCSVファイルを指定し、[開く] をクリックします。
ファイルが読み込まれ、内容が表示されます。

参考

- リストからプリンターを選択して [削除] をクリックすると、リストからライセンスキーを削除できます。
- [インポート] を再度クリックして、別のCSVファイルを追加できます。

5. [保存] をクリックします。
6. [OK] をクリックします。
7. 保存完了メッセージ画面で [OK] をクリックします。

テンプレートが保存され、画面が閉じます。

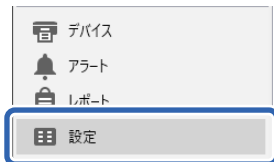
参考 設定テンプレートを再度開くには、[設定テンプレート名] から保存した設定テンプレートを選択し、リボンメニューから [編集] をクリックしてください。

設定テンプレートを適用する

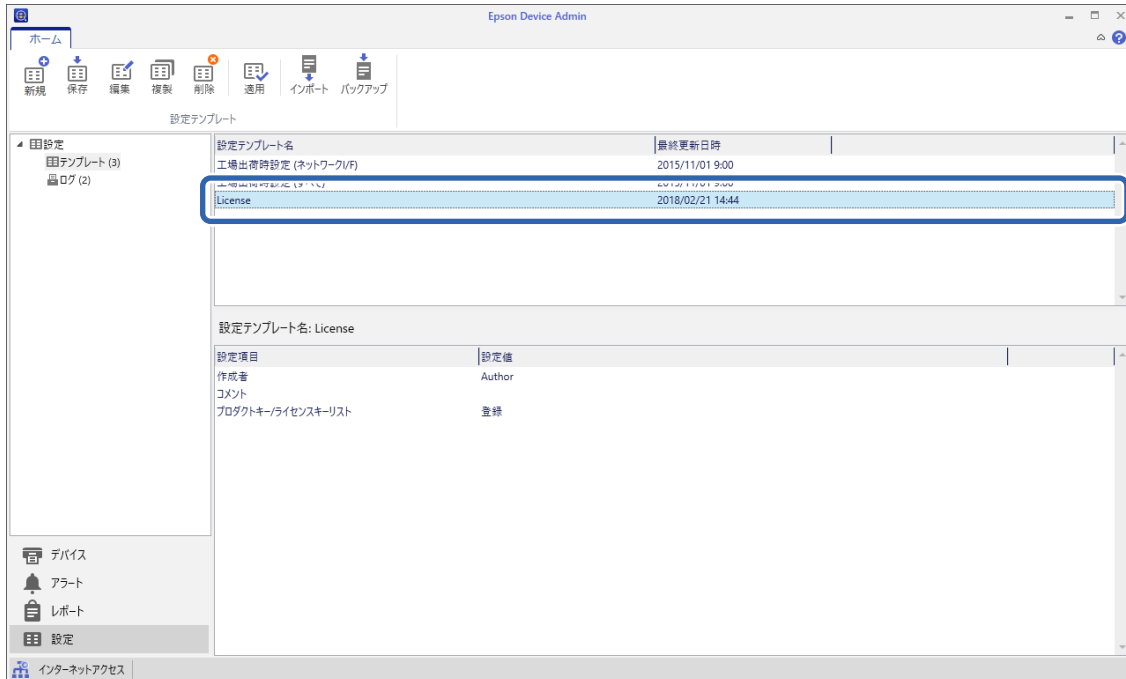
保存した設定テンプレートをプリンターに適用します。設定テンプレートのチェックのある項目が適用されます。対象プリンターに該当する機能がない場合は適用されません。

- ！重要** プリンターに管理者パスワードを設定している場合、先にパスワード設定を行ってください。
1. デバイス一覧を表示し、[オプション] - [パスワード管理] を選択します。
 2. [自動パスワード管理機能を有効にする] にチェックを付けて、[パスワード管理] をクリックします。
 3. 該当するプリンターを選択して [編集] をクリックします。
 4. パスワードを設定して、[登録/更新] をクリックします。

1. サイドバータスクメニューで [設定] を選択します。

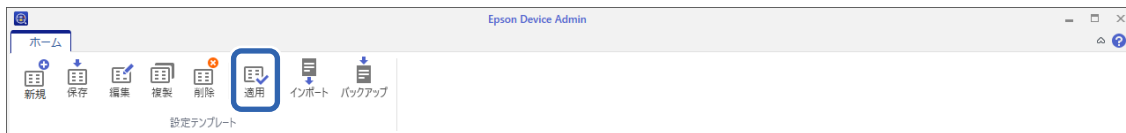


2. [設定テンプレート名] から適用する設定テンプレートを選択します。



3. リボンメニューで [適用] をクリックします。

デバイス選択画面が表示されます。

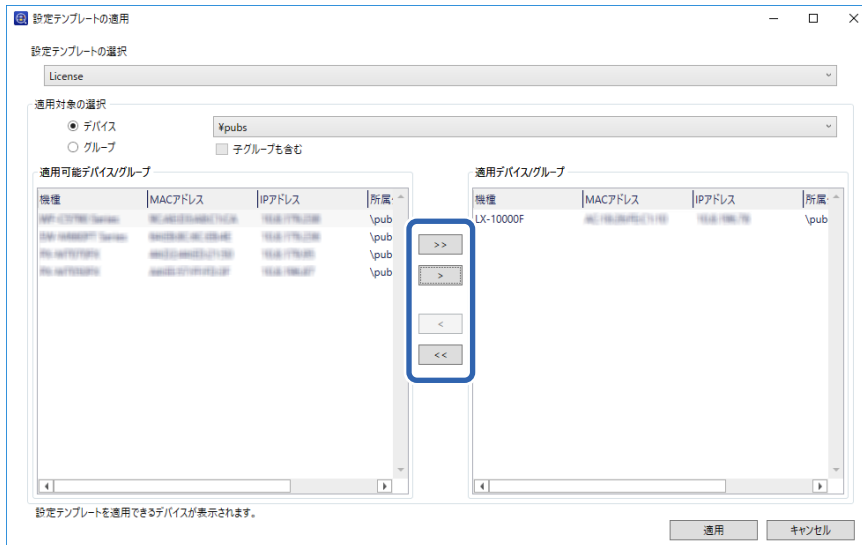


4. 設定テンプレートを適用する対象を選択します。

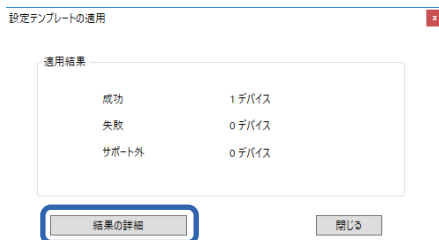
- 参考**
- [デバイス] を選択してプルダウンメニューからデバイスが登録されているグループを選択すると、個々のデバイスが表示されます。
 - [グループ] を選択すると、グループが表示されます。[子グループも含む] にチェックすると、グループを選択したときに子グループも自動的に選択します。

- 適用するプリンターまたはグループを [>]、[>>]、[<]、[<<] を使って [適用デバイス/グループ] へ移動します。

[>] は選択したプリンターまたはグループ、[>>] は全てのプリンターまたはグループを移動できます。複数のプリンターやグループを選択するときは、[Ctrl] または [Shift] を押したままクリックしてください。



- [適用] をクリックします。
設定テンプレート適用の実行確認画面が表示されます。
- [OK] をクリックします。
- [結果の詳細] をクリックして、適用内容を確認します。



適用した項目で が表示されていれば、適用は成功です。



9. [OK] をクリックします。

参考 ライセンスキーをインポートした場合は、デバイス情報を取得して正しいライセンスが適用されていることを確認してください。

関連情報

➔ [「Epson Device Admin」 11 ページ](#)

Web Configを使った個別設定

Epson Print Admin Serverlessを個別に設定する方法を説明します。



認証方式に応じてEpson Print Admin Serverlessを使用するために必要な設定をしてください。詳細は関連情報をご覧ください。

関連情報

➔ 「認証方式による必要な設定」 12ページ

Epson Print Admin Serverless設定メニューを使う

ライセンスキーを登録すると [Epson Open Platform] タブに [Epson Print Admin Serverless設定メニュー] が表示されます。この一覧に添ってEpson Print Admin Serverlessを使用するための設定を行います。

1. Web Configで [Epson Open Platform] タブ - [Epson Print Admin Serverless設定メニュー] を選択します。
 [Epson Open Platform] タブ - [認証設定] - [認証方式] で選択した認証方式に従って設定項目が表示されます。
2. 設定する項目のリンクをクリックします。
3. 各項目を設定します。
4. [Epson Print Admin Serverless設定メニュー] をクリックします。
 [Epson Print Admin Serverless設定メニュー] に戻ります。



ユーザー認証設定をする (Web Config)

Epson Print Admin Serverlessの認証方式と認証手段を設定します。

1. [Epson Print Admin Serverless設定メニュー] から [Epson Print Admin Serverless > 認証設定] をクリックします。
または [Epson Open Platform] タブ - [認証設定] を選択します。



2. 各項目を設定します。
3. [設定] をクリックします。

認証設定の設定項目

項目	説明
認証方式	<p>認証方式を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 本体認証 プリンターの本体に登録されたユーザー情報を使って認証します。プリンター本体にユーザー情報の登録が必要です。 • LDAPサーバー認証 連携しているLDAPサーバーのユーザー情報を使って認証します。LDAPサーバー設定が必要です。 • 本体認証とLDAPサーバー認証 プリンター本体または連携しているLDAPサーバーのユーザー情報を使って認証します。プリンターへユーザー情報の登録とLDAPサーバー設定が必要です。 • みなし認証 あらかじめプリンターに登録したIDカードのフォーマット情報を使って簡易的に認証します。ユーザー情報の登録は必要ありません。

項目	説明
認証手段	<p>認証手段を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 認証カードまたはユーザーIDとパスワード ユーザー認証にIDカードを使用します。ユーザーIDとパスワードによる認証も使用できます。 [認証方式] で [みなし認証] を選択していると [認証カード] に固定されます。 • ユーザーIDとパスワード ユーザー認証にユーザーIDとパスワードを使用します。 IDカードによる認証は使用できません。 • ユーザーID ユーザー認証にユーザーIDのみを使用します。パスワードの設定は必要ありません。 • 認証カードまたはID番号 ユーザー認証にIDカードを使用します。ID番号も使用できます。 • ID番号 ユーザー認証にID番号のみを使用します。
ユーザーによるカード登録を許可する	<p>許可すると、認証カードの登録をユーザーが行えます。 [認証方式] で [LDAPサーバー認証] または [みなし認証] を選択していると設定できません。</p>
ID番号の最小桁数	<p>ID番号の最小桁数を選択します。</p>
LDAPサーバー認証ユーザーのキャッシュ	<p>LDAPサーバー認証を利用している場合、ユーザー情報のキャッシュを使用するかしないか設定できます。</p>

重要 LDAPサーバー認証を使用する場合のご注意：

増設ネットワークインターフェイスボードを使用している場合、LDAPサーバーは標準のネットワークインターフェイスか増設したネットワークインターフェイスのどちらかでのみ使用できます。LDAPサーバー認証に使用するLDAPサーバーに接続できるネットワークインターフェイスを設定してください。

[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - [LDAPサーバー]

関連情報

➔ [「認証方式の概要」7ページ](#)

印刷ジョブを設定する (Web Config)

クライアントコンピューターから送信された印刷ジョブに関する設定をします。

1. [Epson Print Admin Serverless設定メニュー] から [Epson Print Admin Serverless > 印刷ジョブ] を選択します。
または [Epson Open Platform] タブ - [印刷ジョブ] を選択します。



2. 各項目を設定します。
3. [設定] をクリックします。

関連情報

➡ [「印刷ジョブを削除する」74ページ](#)

印刷ジョブ設定項目

項目	説明
有効期間 (0-720 時間)	保持していない印刷ジョブを自動削除するまでの時間を設定します。「0」を指定すると印刷ジョブは自動的に削除されません。
履歴に記録するユーザー名	Epson Device Adminで出力するジョブ履歴のレポートの [印刷：ユーザー名] に記録される名称を選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> • ログオン名： Epson Print Admin Serverlessにログオンしたユーザー名が記録されます。 • コンピューター名： Epson Print Admin Serverlessに印刷ジョブを送信したコンピューター名が記録されます。
プリンターに蓄積せずに印刷	コンピューターからの印刷時、印刷ジョブをプリンター本体に蓄積しないで印刷することを許可します。許可すると、印刷ジョブの認証情報が本体やLDAPサーバーの認証情報と一致した場合に、ユーザーがプリンターにログオンすることなく直接印刷されます。ユーザーはプリンタードライバーで蓄積する、しないを設定します。

ユーザー情報の登録 (Web Config)

ユーザー認証に使用するユーザー情報を登録します。

[認証方式] で [LDAPサーバー認証] や [みなし認証] を選択した場合、登録不要です。その場合、メニュー項目から [ユーザー設定] が非表示になります。

[認証方式] で [本体認証とLDAPサーバー認証] を選択した場合は、LDAPサーバーの設定もしてください。

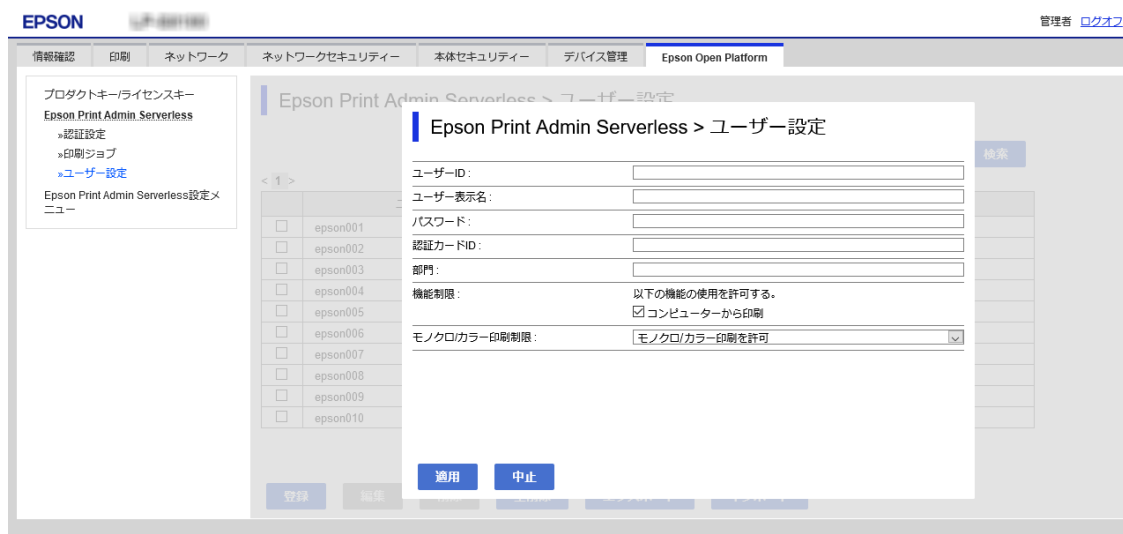
ユーザー情報を個別に登録する

ユーザー情報を1件ずつ入力します。

1. [Epson Print Admin Serverless設定メニュー] から [Epson Print Admin Serverless > ユーザー設定] を選択します。
または [Epson Open Platform] タブ - [ユーザー設定] を選択します。
2. [登録] をクリックします。



3. 各項目を設定します。



4. [適用] をクリックします。

5. 「閉じる」をクリックします。

ユーザー情報の設定項目

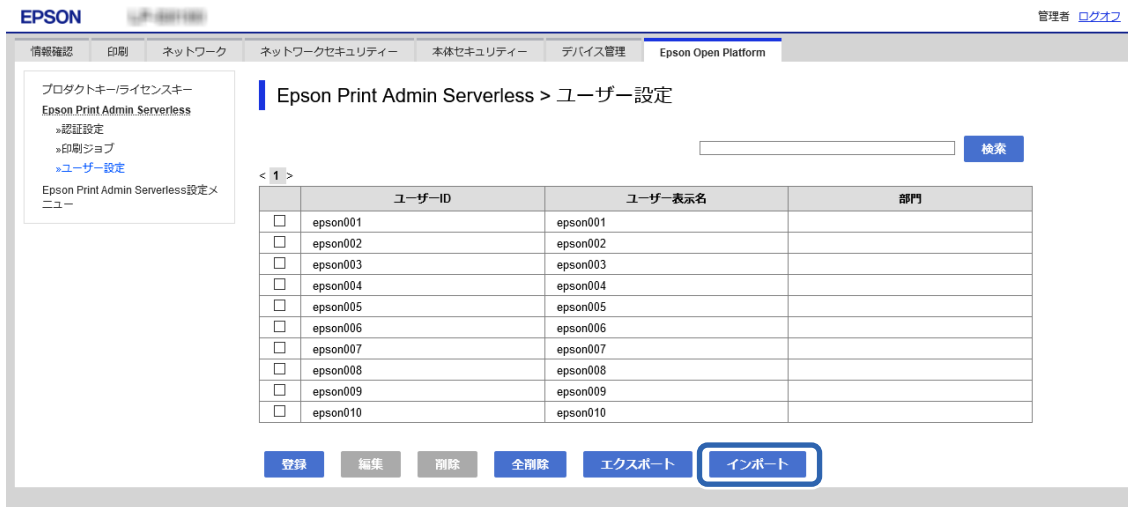
項目	説明
ユーザーID	認証に使用するユーザーIDを、Unicodeで表せる1～83バイトで設定します。大文字、小文字を区別しませんので、どちらでもログインできます。
ユーザー表示名	プリンターのパネルに表示されるユーザーの表示名を、Unicodeで表せる32文字以内で設定します。空欄にもできます。
パスワード	認証に使用するパスワードを、ASCII文字を使用して32文字以内で入力します。大文字、小文字を区別します。 [認証手段] を [ユーザーID] にした場合は空欄にします。
認証カードID	IDカードの読み取り結果を設定します。[認証設定] で [ユーザーによるカード登録を許可する] を許可すると、ユーザーが登録した結果が反映されます。ASCII文字を使用して116文字で入力します。空欄にもできます。
ID番号	[Epson Open Platform] タブ - [認証設定] - [認証手段] で [認証カードまたはID番号] や [ID番号] が選択されている場合に表示されます。 [Epson Open Platform] タブ - [認証設定] - [ID番号の最小桁数] で設定した桁数以上8桁以下の数字を入力します。
自動生成	[Epson Open Platform] タブ - [認証設定] - [認証手段] で [認証カードまたはID番号] や [ID番号] が選択されている場合に表示されます。 クリックすると [ID番号の最小桁数] で選択した桁数のID番号が自動生成されます。
部門	ユーザーを識別する部門名などを任意で入力します。 空欄にもできます。
機能制限	ユーザーごとに機能制限を設定できます。[以下の機能の使用を許可する。] で許可する機能にチェックを付けます。
モノクロ/カラー印刷制限	ユーザーごとにカラー印刷を制限できます。プルダウンメニューから許可する印刷を選択します。

CSVファイルを使ってユーザー情報を一括で登録する

ユーザーの登録情報をCSV ファイルに記述して一括で登録します。

1. [Epson Print Admin Serverless設定メニュー] から [Epson Print Admin Serverless > ユーザー設定] を選択します。
または [Epson Open Platform] タブ - [ユーザー設定] を選択します。

2. [インポート] をクリックします。



3. [参照] をクリックしてインポートするファイルを選択して、[開く] をクリックします。



4. [インポート] をクリックします。
5. 表示された情報を確認し、[OK] をクリックします。

関連情報

➔ [「CSVファイルを作成する」36ページ](#)

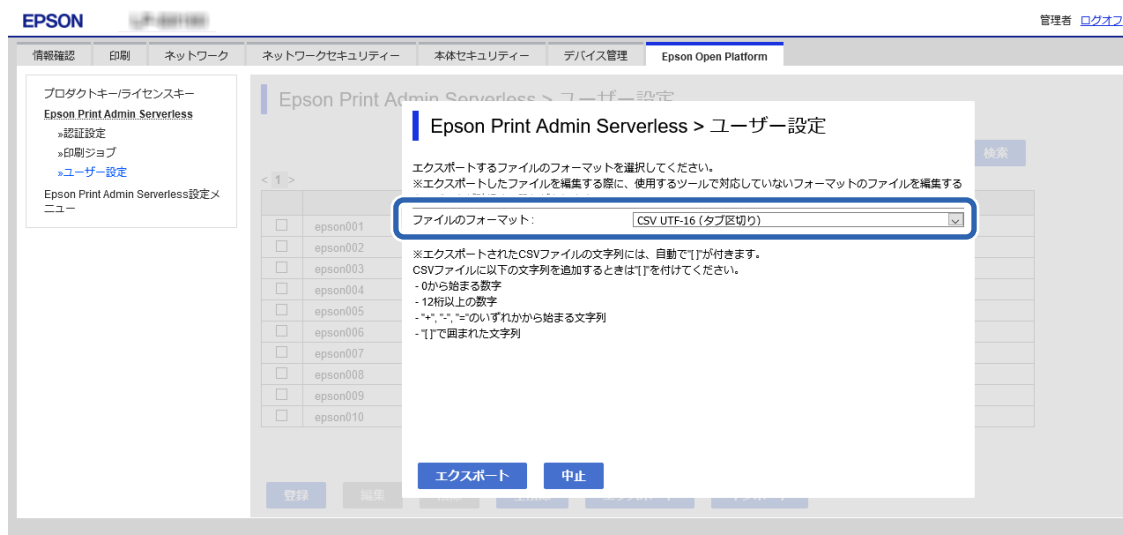
CSVファイルを作成する

ユーザー情報を取り込むためのCSVファイルを作成します。
 CSVファイルは個別に登録したユーザー情報を元にするとファイル作成の手間が省けます。あらかじめ1件以上のユーザー情報を登録してください。

情報の登録とシステム設定

1. [Epson Print Admin Serverless設定メニュー] から [Epson Print Admin Serverless - ユーザー設定] を選択します。
または [Epson Open Platform] タブ - [ユーザー設定] を選択します。
2. [エクスポート] をクリックします。
3. [ファイルのフォーマット] でエクスポートするファイル形式を選択します。
以下を参照して選択してください。

項目	説明
CSV UTF-16 (タブ区切り)	Microsoft Excelでファイルを編集する場合に選択してください。 各列の値は"[]"で囲まれて出力されます。"[]"の間に値を入力してください。 ファイルを更新するときは上書きを奨励します。名前を付けて保存する場合は ファイルの種類を"Unicode テキスト(*.txt)"を選択してください。
CSV UTF-8 (カンマ区切り)	テキストエディターでの編集やマクロでの自動編集など、Microsoft Excelを使わ ずに編集する場合に選択してください。
CSV UTF-8 (セミコロン区切り)	



4. [エクスポート] をクリックします。
5. ファイルの保存場所を選択し、[保存] をクリックします。
ファイルが保存されます。
6. 保存されたCSVファイルを表計算ソフト（Microsoft Excelなど）やテキストエディターなどで編集し、保存します。

！重要 ファイル編集するとき、エンコードやヘッダーの情報を変更しないでください。

CSVファイルの設定項目

項目	設定値と説明
UserID	認証に使用するユーザーIDを、Unicodeで表せる1～83バイトで設定します。
UserName	プリンターのパネルに表示されるユーザーの表示名を、Unicodeで表せる32文字以内で設定します。空欄にもできます。
Password	認証に使用するパスワードを、ASCII文字を使用して32文字以内で入力します。インポートするとき[EncPassword]より優先してパスワードとしてセットされます。 [ユーザーID] を [認証手段] にした場合は空欄にします。 エクスポートするときは常に空欄になります。
AuthenticationCardID	IDカードの読み取り結果を設定します。[認証設定] で [ユーザーによるカード登録を許可する] を許可すると、ユーザーが登録した結果が反映されます。 ASCII文字を使用して116文字で入力します。空欄にもできます。
IDNumber	[Epson Open Platform] タブ - [認証設定] - [認証手段] で [認証カードまたはID番号] や [ID番号] が選択されている場合に表示されます。 [Epson Open Platform] タブ - [認証設定] - [ID番号の最小桁数] で設定した桁数以上8桁以下の数字を入力します。 ID番号の重複はできません。重複している場合、ファイルをインポートした際にエラー通知されます。空欄の場合は自動採番されます。
Department	ユーザーを識別する部門名などを任意で入力します。 Unicode (UTF-8) で表せる40文字以内で入力します。空欄にもできます。
EncPassword	ユーザー情報をエクスポートするとき[Password]に設定してある値が暗号化され、BASE64でエンコードされた値が出力されます。 インポートするときに[Password]に新たなパスワードを入力すると、この値が無視されます。 [Password]に何も入力しないと、この値が使われてエクスポート前のパスワードのままになります。
ComPrint	コンピューターからの印刷機能の有効/無効を設定します。有効：1、無効：0
ColorPrint	カラー印刷の許可/禁止を設定します。許可：1、禁止：0

関連情報

- ➔ [「CSV ファイル/ENE ファイルからインポートする」 52ページ](#)

LDAPサーバーとの連携 (Web Config)

Web Configを使ってプリンター本体のLDAPサーバーの設定を行います。

[認証方式] で [LDAPサーバー認証] や [本体認証とLDAPサーバー認証] を選択した場合に設定してください。
設定項目の詳細は、Epson Device Adminの同じ項目をご覧ください。

関連情報

- ➔ [「LDAPサーバー設定項目」 49ページ](#)
- ➔ [「Kerberos 設定項目」 51ページ](#)
- ➔ [「検索設定項目」 51ページ](#)

LDAPサーバーを設定する (Web Config)

1. [Epson Print Admin Serverless設定メニュー] から [LDAPサーバー > 基本 (プライマリーサーバー)] を選択します。
または [ネットワーク] タブ - [LDAPサーバー] - [基本 (プライマリーサーバー)] を選択します。

The screenshot shows the 'Epson Open Platform' web configuration page. The 'LDAPサーバー > 基本 (プライマリーサーバー)' section is active. The page includes a navigation menu on the left with options like 'プロダクトキーライセンスキー', 'Epson Print Admin Serverless', and 'Epson Print Admin Serverless設定メニュー'. The main content area contains the following settings:

- LDAPサーバーのセキュア機能を使用するには証明書が必要です。以下のページで設定してください。
・相手サーバー検証用CA証明書
- LDAPサーバーを使用する: 使用する 使用しない
- LDAPサーバーアドレス:
- LDAPサーバーポート番号:
- セキュア接続:
- 証明書の検証: 有効 無効
- 検索タイムアウト (秒):
- 認証方式:
- 使用するKerberosレلم:
- 管理者DN / ユーザー名:
- パスワード:

At the bottom of the settings area, there is a note: 'Kerberos認証を利用するには、[Kerberos設定]を設定してください。' and a blue '設定' (Apply) button.

2. 各項目を設定します。
各項目の詳細は関連情報をご覧ください。
3. [設定] をクリックします。
4. [認証方式] で [Kerberos認証] を選択する場合は、[ネットワーク] タブ - [Kerberos設定] から Kerberos設定をして、[設定] をクリックします。
Kerberos設定は10個まで登録できます。選択していない場合は、次の手順に進みます。
5. 必要に応じて [基本 (セカンダリーサーバー)] からLDAPのセカンダリーサーバーを設定し、[設定] をクリックします。
設定項目はプライマリーサーバーと同じです。
6. [設定] をクリックします。

関連情報

- ➔ [「LDAPサーバー設定項目」 49ページ](#)
- ➔ [「Kerberos 設定項目」 51ページ](#)

LDAPサーバーとの接続を確認する

[LDAPサーバー] - [検索設定] で設定した値でLDAPサーバーとの接続テストを行います。

1. [Epson Print Admin Serverless設定メニュー] - [LDAPサーバー > 接続確認 (プライマリーサーバー)] をクリックします。
または [ネットワーク] タブ - [LDAPサーバー] - [接続確認 (プライマリーサーバー)] を選択します。
2. [確認開始] をクリックします。
接続テストの結果が表示されます。
3. [OK] をクリックします。

検索属性を設定する

LDAPサーバーからEpson Print Admin Serverlessに登録するユーザーの検索属性を設定します。

1. [Epson Print Admin Serverless設定メニュー] から [LDAPサーバー > 検索設定 (Epson Print Admin Serverless)] を選択します。
または [ネットワーク] タブ - [LDAPサーバー] - [検索設定 (Epson Print Admin Serverless)] を選択します。

The screenshot shows the 'LDAPサーバー > 検索設定 (Epson Print Admin Serverless)' page. The page has a navigation menu at the top with tabs for '情報確認', '印刷', 'ネットワーク', 'ネットワークセキュリティ', '本体セキュリティ', 'デバイス管理', and 'Epson Open Platform'. The 'Epson Open Platform' tab is active. On the left, there is a sidebar menu with options like 'プロダクトキーライセンスキー', 'Epson Print Admin Serverless', and 'Epson Print Admin Serverless設定メニュー'. The main content area contains a form with the following fields:

検索開始位置(DN):	OU=Accounts,dc-Pubs,dc-net
ユーザーID属性:	sAMAccountName
ユーザー表示名属性:	displayName
認証カードID属性:	pager
ID番号属性:	employeeNumber
部門属性:	department

At the bottom of the form, there is a blue button labeled '設定'.

2. 各項目を設定します。
3. [設定] をクリックします。

関連情報

➡ [「検索設定項目」51ページ](#)

オプション機能の設定 (Web Config)

必要に応じて設定してください。

利用者制限の設定

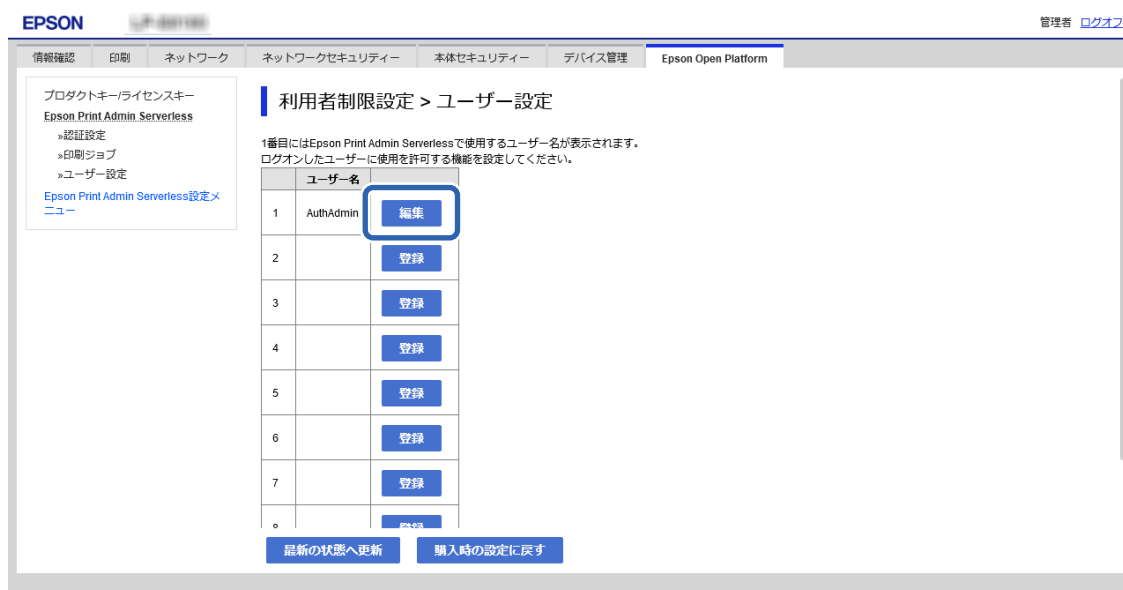
ユーザーに使用を許可する機能を設定します。

利用許可を設定する (Web Config)

登録ユーザーがEpson Print Admin Serverlessにログオンしたときに共通で使用する機能を設定します。

参考 Epson Print Admin Serverlessの本体認証を使用している場合、Web Configのユーザー設定でユーザーごとに利用者制限を設定できます。設定の詳細は関連情報をご覧ください。

1. [Epson Print Admin Serverless設定メニュー] から [利用者制限設定 - ユーザー設定] を選択します。
または [本体セキュリティ] タブ - [利用者制限設定] - [ユーザー設定] を選択します。
2. [1] の行の [編集] をクリックします。



3. [以下の機能の使用を許可する。] で許可する機能にチェックを付けます。



4. [適用] をクリックします。

関連情報

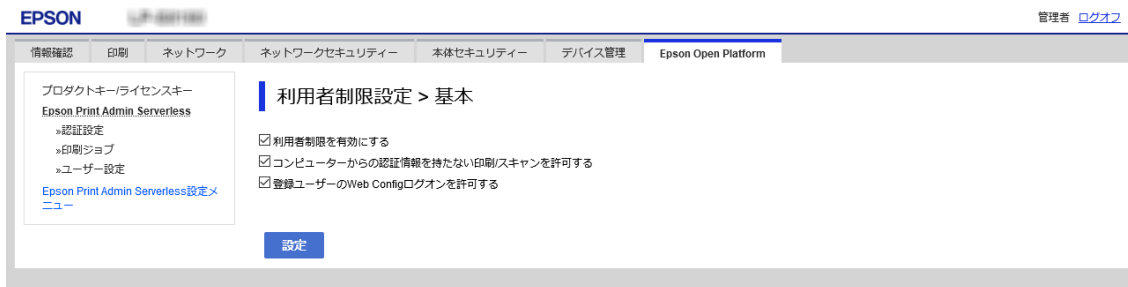
➔ 「ユーザー情報の設定項目」 35ページ

ドライバーやソフトウェアからの利用を許可する

コンピューターからの認証情報を持たない印刷や、登録ユーザーのWeb Configログオンなど、利用許可を設定します。

認証情報のない印刷ジョブを許可する（Web Config）

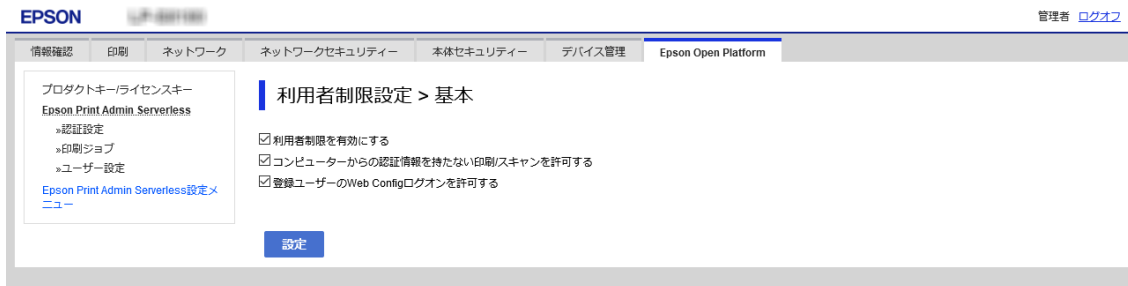
1. [Epson Print Admin Serverless設定メニュー] から [利用者制限設定 > 基本] を選択します。
または [本体セキュリティ] タブ - [利用者制限設定] - [基本] を選択します。
2. [コンピューターからの認証情報を持たない印刷/スキャンを許可する] にチェックを付けます。



3. [確認] をクリックします。

登録ユーザーのWeb Configログオンを許可する（Web Config）

1. [Epson Print Admin Serverless設定メニュー] から [利用者制限設定 > 基本] を選択します。
または [本体セキュリティ] タブ - [利用者制限設定] - [基本] を選択します。
2. [登録ユーザーのWeb Configログオンを許可する] にチェックを付けます。



3. [確認] をクリックします。

認証装置を設定する（Web Config）

IDカードから取得する認証情報の読み取り形式を設定します。

1. [Epson Print Admin Serverless設定メニュー] から [認証装置] を選択します。
または [デバイス管理] タブ - [認証装置] を選択します。
2. 認証装置、IDカードの読み取り情報を設定します。
各項目の詳細は関連情報をご覧ください。

The screenshot shows the 'Epson Print Admin Serverless' configuration page for 'Authentication Device' (認証装置). The interface includes a navigation menu on the left with options like 'Epson Print Admin Serverless', '認証設定', '印刷ジョブ', and 'ユーザー設定'. The main content area has a title '認証装置' and instructions: '使用する認証装置を限定するときのみVendor IDとProduct IDを設定してください。' (When limiting the authentication device to be used, please set the Vendor ID and Product ID). Below this are input fields for 'Vendor ID' (0000), 'Product ID' (0000), and '動作パラメーター'. There are also dropdown menus for '認証装置' (set to 'カスタム (フォーマット1)') and '認証カードID保存フォーマット' (set to 'フォーマット1 (デフォルト)'). A checkbox '認証カードIDの読み取り設定をする' is unchecked. Below it are input fields for '開始文字位置' (1) and '文字数' (1). A '次へ' (Next) button is at the bottom. A confirmation section at the bottom states: '認証装置の接続と認証カードの読み取り結果を確認します。' (Check the connection of the authentication device and the ID card reading result.) with steps: '1. 認証装置に認証カードをかざします。' (Hold the ID card to the authentication device.) and '2. 確認ボタンを押してください。' (Press the confirmation button.) with a '確認' (Confirm) button.

3. [次へ] をクリックします。
確認画面が表示されます。
4. [設定] をクリックします。

関連情報

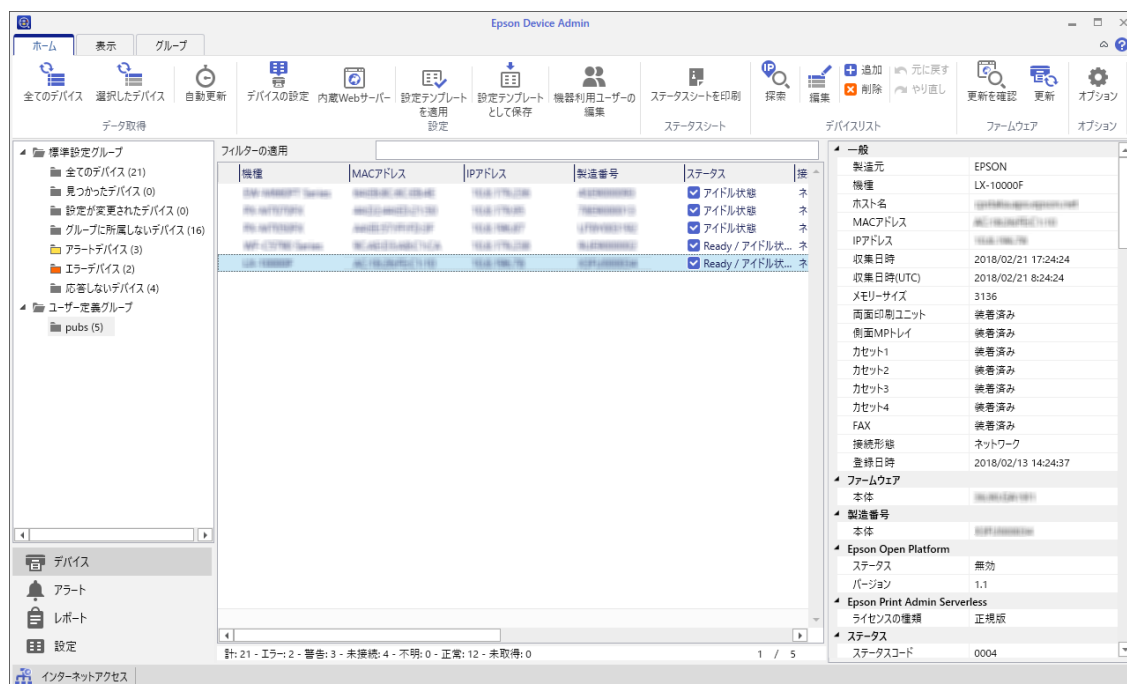
➔ [「設定できる認証情報の読み取り方法」19ページ](#)

Epson Device Admin (設定テンプレート) を使った一括設定

Epson Device Adminを使用すると、複数のプリンターへ一度にEpson Print Admin Serverlessを設定できます。詳細はEpson Device Adminのマニュアルやヘルプをご覧ください。

情報の登録とシステム設定

認証方式によってEpson Print Admin Serverlessを使用するために必要な設定を行ってください。詳細は関連情報をご覧ください。



関連情報

➔ [「認証方式による必要な設定」12ページ](#)

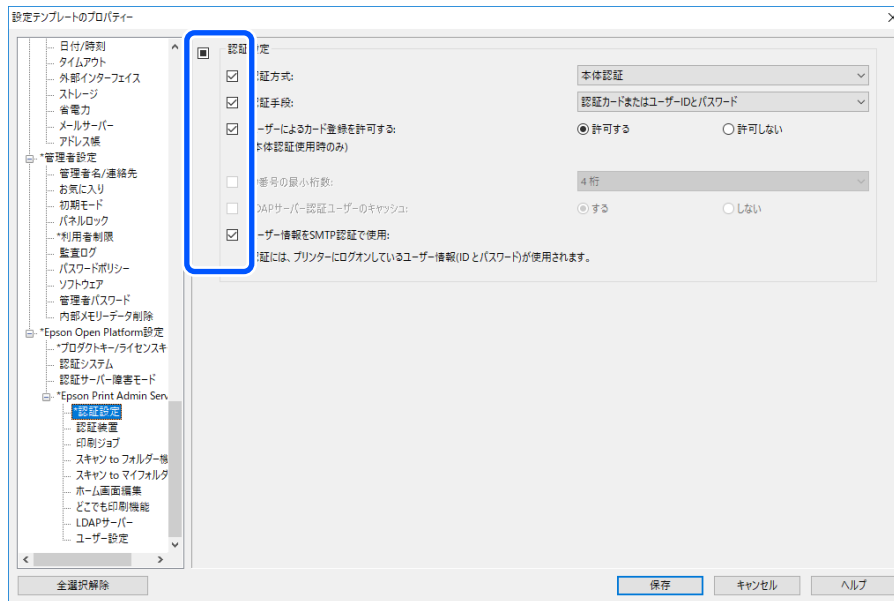
Epson Device Admin（設定テンプレート）の操作概要

Epson Device Adminの設定テンプレートを使ってEpson Print Admin Serverlessの設定を行います。以下の流れで設定値をプリンターに適用してください。

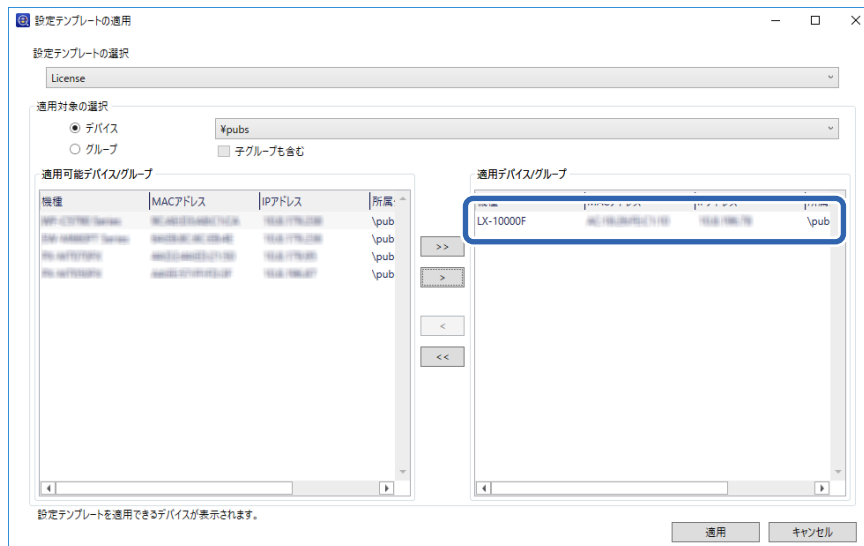
1. 設定テンプレートを新規作成します。

情報の登録とシステム設定

- 設定する機能の画面で設定値を入力、選択し、適用する項目にチェックを付けます。
以下は認証設定画面の例です。



- 設定テンプレートを保存します。
- 設定を適用するプリンターを選択して設定テンプレートを適用します。



設定テンプレートの基本操作は関連情報をご覧ください。

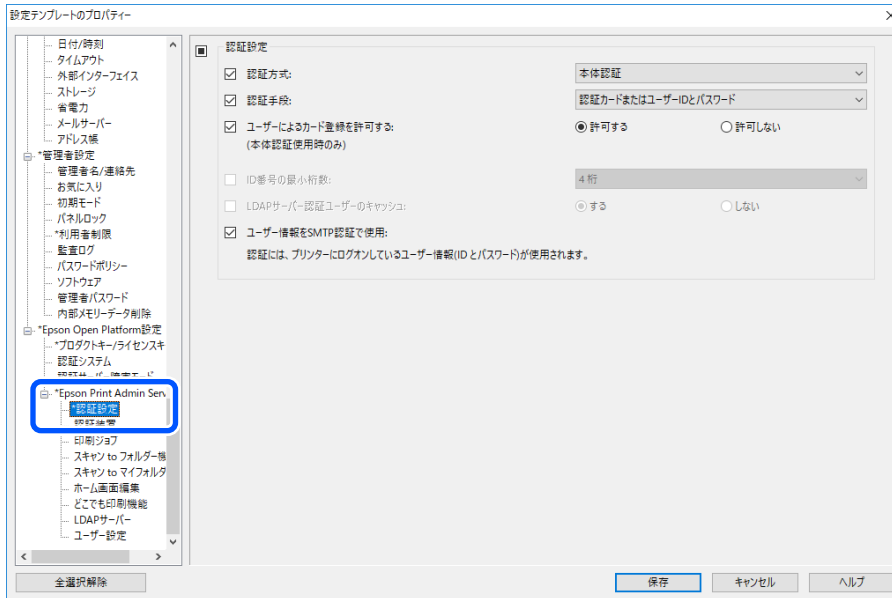
関連情報

- ➔ [「設定テンプレートを新規作成する」 24ページ](#)
- ➔ [「設定テンプレートを適用する」 26ページ](#)

ユーザー認証設定をする（設定テンプレート）

Epson Print Admin Serverlessの認証方式と認証手段を設定します。

1. 設定テンプレートから、[Epson Open Platform設定] - [Epson Print Admin Serverless 設定] - [認証設定] を選択します。



2. 各項目を設定します。

各項目の詳細は関連情報をご覧ください。

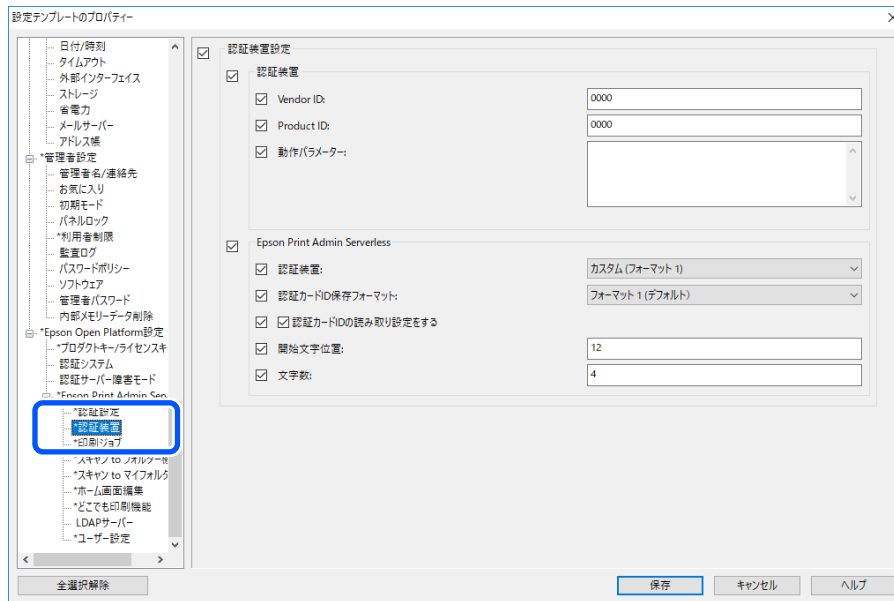
関連情報

➔ [「認証設定の設定項目」 31ページ](#)

認証装置を設定する（設定テンプレート）

IDカードから取得する認証情報の読み取り形式を設定します。

1. 設定テンプレートから、[Epson Open Platform設定] - [Epson Print Admin Serverless 設定] - [認証装置] を選択します。



2. 認証装置、IDカードの読み取り情報を設定します。

各項目の詳細は関連情報をご覧ください。

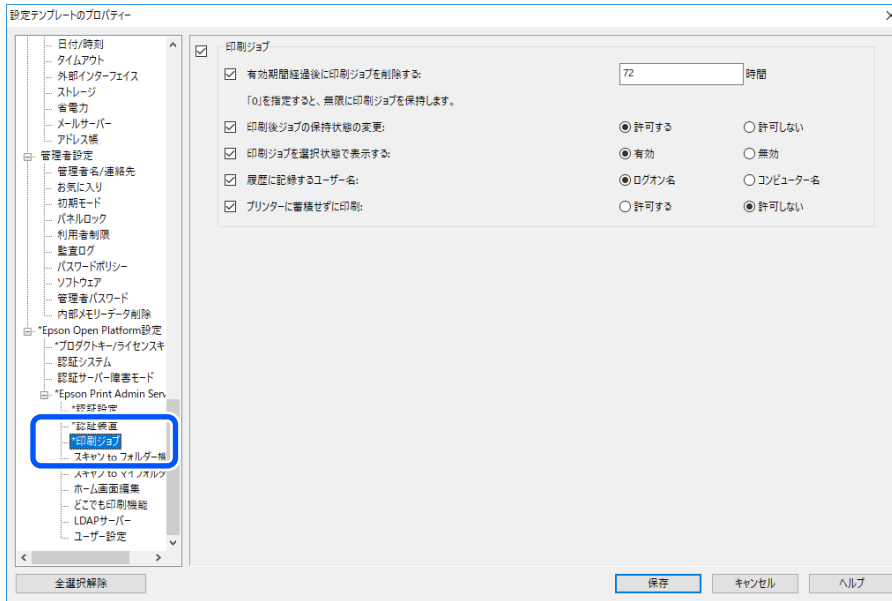
関連情報

- ➔ [「設定できる認証情報の読み取り方法」19ページ](#)

印刷ジョブを設定する（設定テンプレート）

クライアントコンピュータから送信された印刷ジョブに関する設定をします。

1. 設定テンプレートから、[Epson Open Platform設定] - [Epson Print Admin Serverless 設定] - [印刷ジョブ] を選択します。



2. 各項目を設定します。

各項目の詳細は関連情報をご覧ください。

関連情報

- ➔ [「印刷ジョブ設定項目」 33ページ](#)

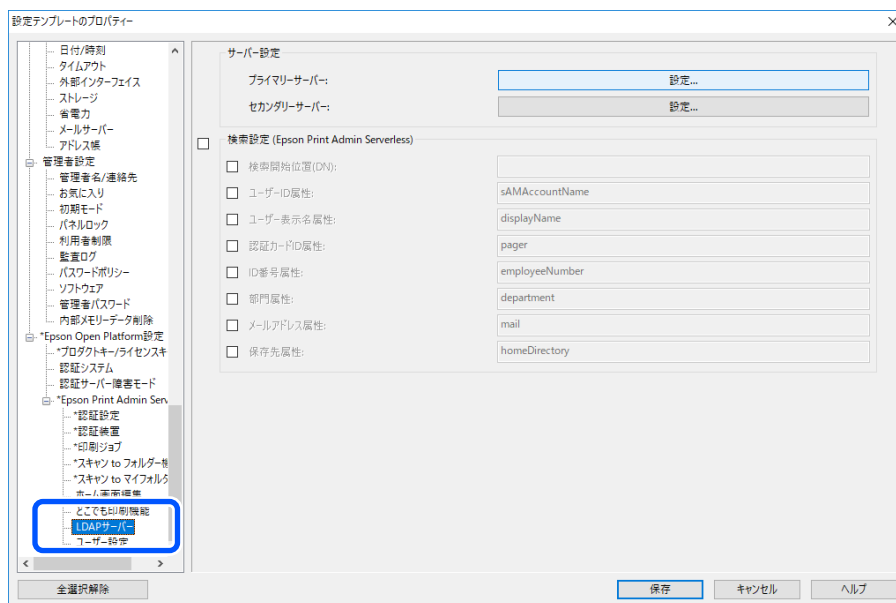
LDAPサーバーと連携する（設定テンプレート）

[LDAP] や [本体認証とLDAPサーバー認証] で使用するLDAPサーバー設定とユーザー情報を特定するための検索属性を設定します。

LDAPサーバーの冗長システムとして使用できます。

- 参考** ここで設定したLDAPサーバー設定は、[アドレス帳] で使用される [Network] - [LDAP] の [サーバー設定 (プライマリサーバー)]、[サーバー設定 (セカンダリサーバー)] と共有です。どちらかの値を変更するともう一方に反映されます。

1. 設定テンプレートから、[Epson Open Platform設定] - [Epson Print Admin Serverless 設定] - [LDAPサーバー] を選択します。



2. 各項目を設定します。

各項目の詳細は関連情報をご覧ください。

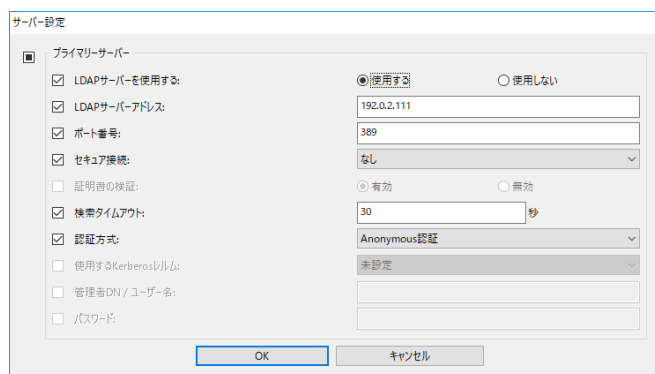
関連情報

- ➔ [「LDAPサーバー設定項目」 49ページ](#)
- ➔ [「Kerberos 設定項目」 51ページ](#)
- ➔ [「検索設定項目」 51ページ](#)

LDAPサーバー設定項目

[サーバー設定 (プライマリサーバー)] の [設定] をクリックします。

[認証方式] で [Kerberos認証] を選択する場合は [ネットワーク] - [セキュリティ] - [Kerberos設定] から Kerberos設定をしてください。



情報の登録とシステム設定

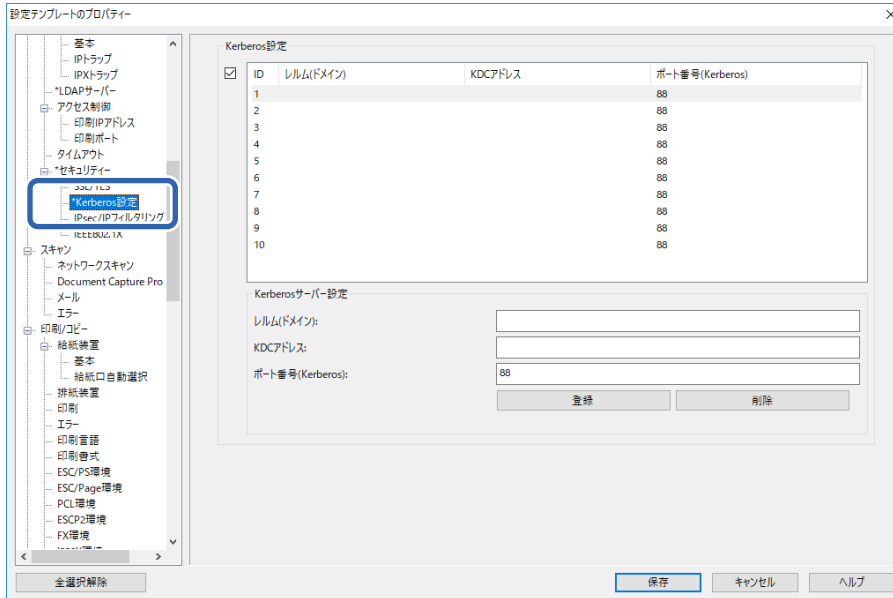
項目	設定値と説明
LDAPサーバーを使用する	使用する場合はチェックを付けます。
LDAPサーバーアドレス	LDAPサーバーのアドレスを入力します。IPv4、IPv6、FQDNのいずれかの形式で1～1024文字以内で指定します。FQDN形式ではUS-ASCII文字の数字とアルファベット、ハイフン（先頭と末尾以外）が使用できます。
ポート番号	LDAPサーバーのポート番号を1～65535以内の半角数字で入力します。
セキュア接続	プリンターがLDAPサーバーにアクセスする際の認証方式を指定します。
証明書の検証	有効にするとLDAPサーバーの証明書の正当性をチェックします。[有効]にすることをお勧めします。 設定するには、プリンターに[相手サーバー検証用証明書]のインポートが必要です。
検索タイムアウト	検索を開始してからタイムアウトするまでの時間（秒）を0～99999までの半角数字で入力します。
認証方式	認証方式を選択します。 [Kerberos認証]を選択する場合は、[Kerberos設定]を選択し、Kerberos設定をしてください。 Kerberos認証を行うには以下の環境が必要です。 <ul style="list-style-type: none"> • プリンターとDNSサーバーが通信できること • プリンターとKDCサーバー、認証が必要なサービスを提供するサーバー（LDAPサーバー、SMTPサーバー、ファイルサーバー）の時刻の同期が取れていること • サービスサーバーをIPアドレスで指定している場合、DNSサーバーの逆引き参照ゾーンにサービスサーバーのFQDNが登録されていること
使用するKerberosレルム	[認証方式]で[Kerberos認証]を選択した場合に、使用するKerberosレルムを選択します。
管理者DN / ユーザー名	Unicode (UTF-8)で表せる1024文字以内でLDAPサーバーのユーザー名を入力します。制御文字（0x00～0x1F、0x7F）は使用できません。この項目は[認証方式]を[Anonymous認証]にすると無効になります。指定しない場合は空白にします。
パスワード	Unicode (UTF-8)で表せる1024文字以内でLDAPサーバー認証のパスワードを入力します。制御文字（0x00～0x1F、0x7F）は使用できません。この項目は[認証方式]を[Anonymous認証]にすると無効になります。指定しない場合は空白にします。

関連情報

➔ [「LDAPサーバーからインポートする」54ページ](#)

Kerberos 設定項目

[ネットワーク] - [セキュリティ] - [Kerberos設定] を選択します。



項目	設定値と説明
レルム(ドメイン)	Kerberos認証のレルムをASCII文字で表せる1024文字以内で指定します。登録しない場合は空白にします。
KDCアドレス	Kerberos認証サーバーのアドレスを入力します。IPv4、IPv6、FQDNのいずれかの形式で1024文字以内で指定します。登録しない場合は空白にします。
ポート番号(Kerberos)	Kerberosサーバーのポート番号を1~65535以内の数字で入力します。

検索設定項目

LDAPサーバー認証に連携する登録するユーザー情報の検索属性を設定します。

検索設定

項目	設定値と説明
検索開始位置(DN)	LDAPサーバーからユーザー情報を検索するときの検索開始位置を指定します。Unicode (UTF-8) で表せる0~128文字以内で入力します。検索位置を指定しないときは空白にします。 設定例：localのserverディレクトリー：dc=server,dc=local
ユーザーID属性	ユーザーIDとして検索するLDAPサーバーの属性名を指定します。入力できる文字は、ASCII文字で255文字以内です。先頭はアルファベットのA~Z、a~zにしてください。 設定例：cn、uid

項目	設定値と説明
ユーザー表示名属性	表示名として表示する属性名を指定します。入力できる文字は、ASCII文字で255文字以内です。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。空白にもできます。 設定例：cn、name
認証カードID属性	認証カードIDとして表示する属性名を指定します。入力できる文字は、ASCII文字で255文字以内です。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。空白にもできます。 設定例：cn、sn
ID番号属性	ユーザーIDとして検索するLDAPサーバーの属性名を指定します。入力できる文字は、ASCII文字で255文字以内です。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：cn、id
部門属性	部門名として表示する属性名を指定します。入力できる文字は、ASCII文字で255文字以内です。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。空白にもできます。 設定例：ou、ou-cl

関連情報

- ➔ [「LDAPサーバーとの連携 \(Web Config\)」 38ページ](#)
- ➔ [「LDAPサーバーからインポートする」 54ページ](#)

ユーザー情報の登録 (設定テンプレート)

ユーザー認証に使用するユーザー情報を登録します。

[認証方式] で [LDAPサーバー認証] や [みなし認証] を選択した場合、登録不要です。

ユーザー情報のインポート (設定テンプレート)

LDAPサーバーやCSV/ENEファイルを利用して、本体認証で使用されるユーザー情報を本体に一括で登録できます。

LDAPサーバーからEpson Print Admin Serverless用にユーザー情報を検索し、インポートして登録できます。

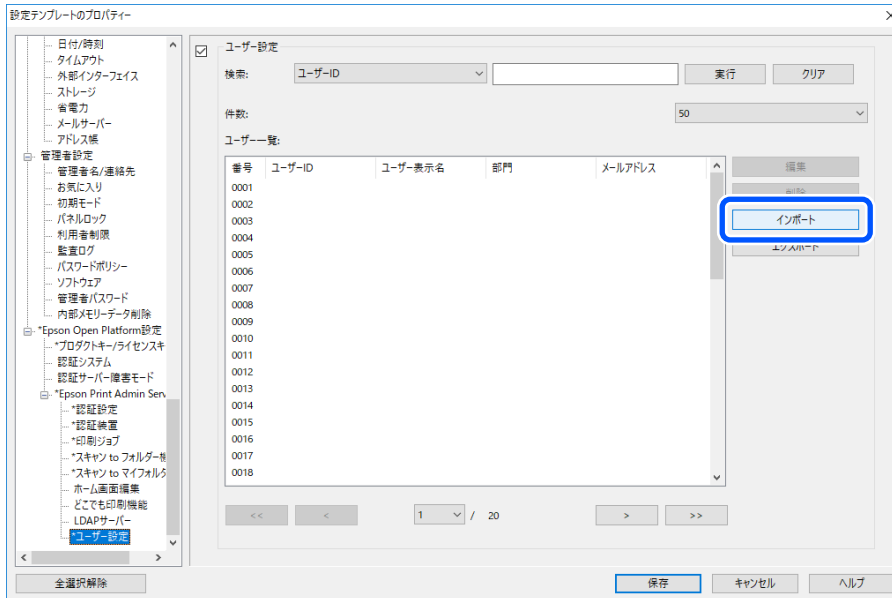
ユーザー情報はアドレス帳で宛先を使用していない件数までインポートできます。

参考 ENEファイルはエプソン独自の暗号化ファイル形式で、個人情報を含むアドレス帳の情報やユーザー情報などを保存するバイナリファイルです。Epson Device Adminからエクスポートでき、パスワードを設定できます。バックアップしたユーザー情報をインポートするような場合に使用できます。

CSV ファイル/ENE ファイルからインポートする

1. [Epson Open Platform設定] - [Epson Print Admin Serverless 設定] - [ユーザー設定] を選択します。

2. [インポート] をクリックします。



3. [インポート元] で [CSV/ENEファイル] を選択します。



4. [参照] をクリックします。
ファイル選択画面が表示されます。
5. インポートするファイルを選択して [開く] をクリックします。
6. インポート方法を選択します。
 - 上書き、追加する：同じユーザーIDがある場合は上書きし、ない場合は追加します。
 - 全て置き換える：インポートするユーザー情報に全て置き替えます。
7. [インポート] をクリックします。
確認画面が表示されます。

8. [OK] をクリックします。

読み込み内容の検証が始まり、結果を表示します。

参考

- 読み込んだユーザー情報がインポートできる件数を超えた場合、ユーザー情報を削除するよう案内が表示されます。インポートする前に超過しているユーザー情報を削除してください。
- [ユーザーの削除] をクリックするとユーザー情報の削除画面が開きます。ユーザー情報を選択して [削除] をクリックすると、インポート前にユーザー情報を削除できます。

9. [インポート] をクリックします。

ユーザー情報が設定テンプレートにインポートされます。

関連情報

➔ [「CSVファイルを作成する」36ページ](#)

LDAPサーバーからインポートする

- [Epson Open Platform設定] - [Epson Print Admin Serverless 設定] - [ユーザー設定] の順に選択します。
- [インポート] をクリックします。
- [インポート元] で [LDAP] を選択します。

4. [設定] をクリックします。

LDAPサーバー設定が表示されます。



このLDAPサーバー設定は、LDAPサーバーのユーザー情報をインポートするための設定です。ここで取得したユーザー情報はプリンターにインポート（コピー）して本体認証で使用するユーザーとして登録されます。一方、[LDAP] や [本体認証とLDAPサーバー認証] で使用するLDAPサーバー設定は、LDAPサーバーと通信しながら認証するために設定します。

5. 各項目を設定します。

LDAPサーバーからユーザー情報をインポートする場合、LDAP設定の項目に加えて以下が設定できます。その他の項目は関連情報をご覧ください。

項目	説明
LDAPサーバーの設定	LDAPサーバーの種類
検索設定	検索フィルター

6. 必要に応じて [接続テスト] をクリックし、接続テストを行います。

LDAPサーバーから10件分のユーザー情報を取得して表示します。

7. [OK] をクリックします。

8. インポート方法を選択します。

- 上書き、追加する：同じユーザーIDがある場合は上書きし、ない場合は追加します。
- 全て置き換える：インポートするユーザー情報に全て置き替えます。

9. [インポート] をクリックします。

確認画面が表示されます。

10. [OK] をクリックします。

読み込み内容の検証が始まり、結果を表示します。

参考 [ユーザーの削除] をクリックするとユーザー情報の削除画面が開きます。ユーザー情報を選択して [削除] をクリックすると、インポート前にユーザー情報を削除できます。

11. [インポート] をクリックします。

ユーザー情報が設定テンプレートにインポートされます。

関連情報

- ➔ [「CSVファイルを作成する」 36ページ](#)
- ➔ [「LDAPサーバーとの連携 \(Web Config\) 」 38ページ](#)
- ➔ [「ユーザー情報のメンテナンス」 69ページ](#)
- ➔ [「LDAPサーバー設定項目」 49ページ](#)
- ➔ [「検索設定項目」 51ページ](#)

その他の設定（設定テンプレート）

必要に応じて設定してください。

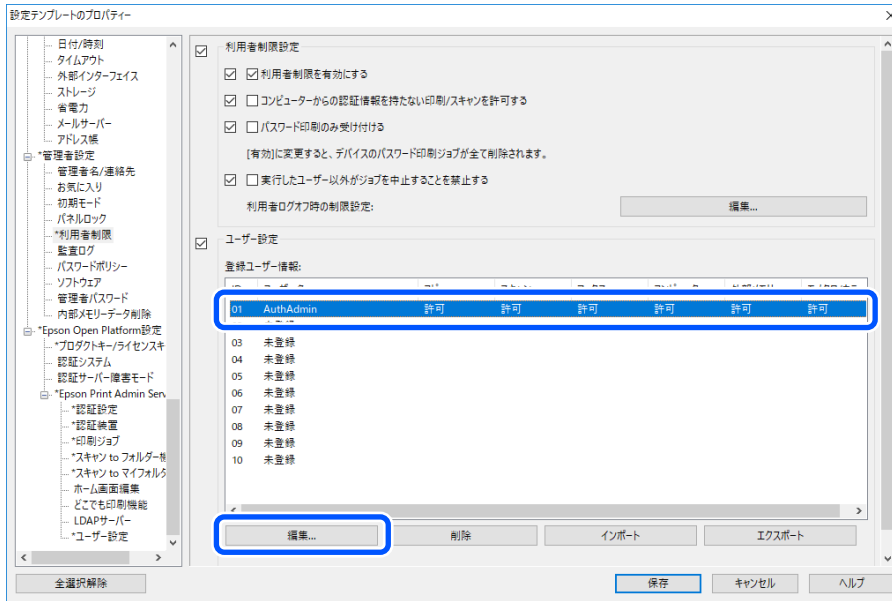
利用許可を設定する（設定テンプレート）

登録ユーザーがEpson Print Admin Serverlessにログオンしたときに共通で使用する機能を設定します。

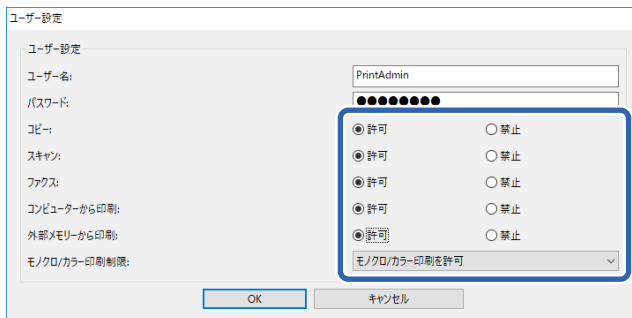
参考 Epson Print Admin Serverlessの本体認証を使用している場合、Web Configのユーザー設定でユーザーごとに利用者制限を設定できます。設定の詳細は関連情報をご覧ください。

1. 設定テンプレートから、[管理者設定] - [利用者制限] を選択します。

2. [01] を選択して、[編集] をクリックします。



3. 使用を許可する機能で [許可] を選択します。



4. [OK] をクリックします。

関連情報

- ➔ [「利用許可を設定する \(Web Config\) 」 41ページ](#)
- ➔ [「ユーザー情報の設定項目」 35ページ](#)

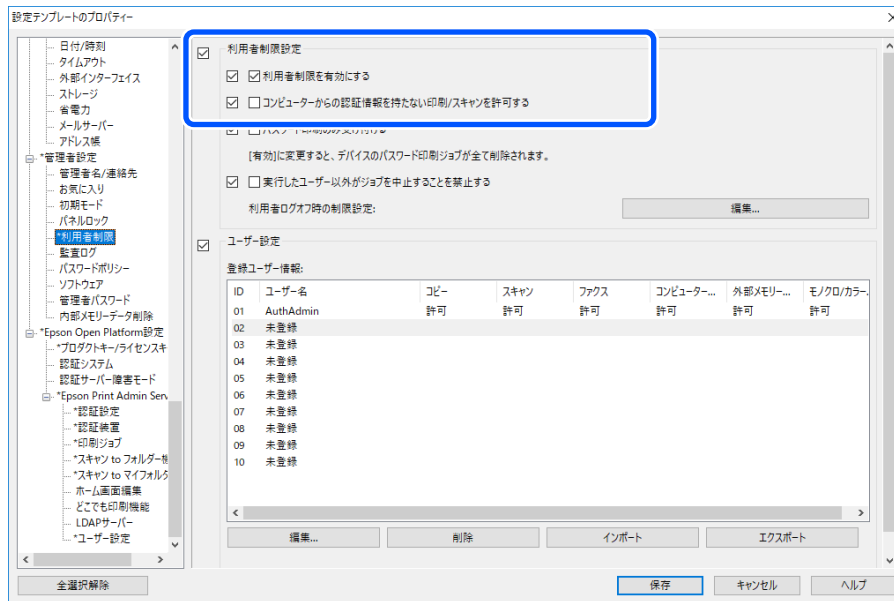
ドライバーやソフトウェアからの利用を許可する

コンピューターから帳票印刷などを実行できるように利用許可を設定します。

認証情報のない印刷ジョブを許可する (設定テンプレート)

1. 設定テンプレートから、[管理者設定] - [利用者制限] を選択します。

2. [利用者制限設定] の [利用者制限を有効にする] と [コンピューターからの認証情報を持たない印刷/スキャンを許可する] にチェックを付けます。



クライアントコンピューターの設定

プリンタードライバーのインストール

お使いのプリンター用の標準ドライバーをクライアントコンピューターにインストールしてください。インストールされている場合は、最新のドライバーにアップデートしてください。

プリンタードライバーの設定

Epson Print Admin Serverlessで印刷するには、ユーザー情報を印刷ジョブと一緒にプリンターに送信する必要があります。

ユーザー情報の登録や設定をクライアントコンピューターで行ってください。設定するときは管理者権限のアカウントでコンピューターにログオンしてください。

設定や使い方の詳細は、『Epson Print Admin Serverless 使い方ガイド - コンピューターからの印刷』をご覧ください。

Windows ドライバーのユーザー設定

Windowsでは、プリンタードライバーにユーザー情報を設定します。ユーザー情報の設定には以下の3つがあります。

- 全てのユーザーに同じ設定を適用する
このコンピューターから認証印刷をする場合、[ユーザーID] で指定したユーザーIDを常に使用します。印刷時にユーザーIDを再度設定する必要はありません。
ログオン名と同じユーザーIDを使用しているときや、固定のユーザーIDを使用するときを選択してください。
- ユーザーごとに入力・保存する
印刷時にプリンタードライバーの[応用設定] タブの[印刷方法]にある[設定]を選択して、[ユーザーID設定]画面でユーザーIDを設定します。一度設定すれば使用するユーザーIDを変更しない限り、設定し直す必要はありません。使用するユーザーIDを変更するときは、[ユーザーID設定]画面でユーザーIDを変更してください。
- 印刷ごとに入力する
印刷時に[ユーザーID設定]画面が表示され、ユーザーIDを設定します。
複数のユーザーが1つのユーザーアカウントを共有してコンピューターを使用しているときに便利です。

印刷ジョブの蓄積

コンピューターからの印刷時、印刷ジョブをプリンター本体に蓄積するかしないか設定します。印刷ジョブの蓄積は、印刷ジョブ設定で許可している場合に使用できます。

- [プリンターに蓄積してから印刷する]
送信した印刷ジョブをプリンター本体に蓄積します。認証カードなどでプリンターにログインして印刷します。

- [プリンターに蓄積せずに印刷する]
送信した印刷ジョブを直接印刷します。印刷ジョブはプリンターに蓄積されません。

Epson Print Admin Serverless設定

認証印刷を使用する

印刷ジョブの蓄積
プリンター本体の設定と合わせてください。

プリンターに蓄積してから印刷する

プリンターに蓄積せずに印刷する

ユーザーIDの入力と保存

全てのユーザーに同じ設定を適用する

ユーザーID

ログイン名

手動設定

ユーザーごとに入力・保存する
[印刷方法]の[設定]ボタンからユーザーIDを設定してください。

印刷ごとに入力する
印刷を実行するとユーザーID入力画面が表示されます。

OK キャンセル ヘルプ

関連情報

- ➔ 「印刷ジョブを設定する (Web Config) 」 32ページ
- ➔ 「印刷ジョブを設定する (設定テンプレート) 」 47ページ

Mac OSドライバーのユーザー設定

Mac OSでは、印刷時に入力画面が表示され、ユーザーIDを設定します。設定をキーチェーンに保存すると次回から入力を省略できます。

ユーザー名とパスワードを入力してください。

名前: xxxxxx

パスワード:

このパスワードをキーチェーンに保存

キャンセル OK

重要 Mac OSの場合、プリンターをIP接続すると認証ができません。プリンターをBonjourまたはIPPプロトコルで接続してください。

関連情報

- ➔ 「プリンターをBonjour接続する」 61ページ
- ➔ 「プリンターをIPP接続する」 61ページ

プリンターをBonjour接続する

1. [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ] を開きます。
2. [+] をクリックします。
3. [デフォルト] が選択されていることを確認し、[名前] からお使いのプリンターを選択します。
4. [ドライバ] でお使いのプリンターを選択し、[追加] をクリックします。

プリンターをIPP接続する

1. [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ] を開きます。
2. [+] をクリックします。
3. [IP] を選択します。
4. [アドレス] にプリンターのホスト名またはIPアドレスを入力します。
5. [プロトコル] に [IPP (Internet Printing Protocol)] を選択します。
6. [ドライバ] でお使いのプリンターを選択し、[追加] をクリックします。

認証情報の接続形態について

プリンタードライバーから印刷するジョブには、USB接続、ネットワーク接続どちらも認証情報が必要です。認証情報のない印刷ジョブは読み捨てられます。

USB接続は以下の方法で禁止できます。その場合、印刷ジョブは読み捨てられます。

- Web Config :
[本体セキュリティ] - [外部インターフェイス] - [コンピューターのUSB接続] を [無効] に設定
- Epson Device Admin (設定テンプレート) :
[共通] - [外部インターフェイス] の [USBデバイスI/F] を [使用しない] に設定

運用・管理

管理者パスワードと管理者ロックの設定

管理者パスワードや管理者ロックを設定すると、プリンターの利用者がシステム管理に関する設定を変更できないように制限できます。

Web ConfigやEpson Device Adminでは、管理者パスワードを設定すると管理者ロックがかかります。操作パネルでは、管理者パスワードを設定して管理者ロックを有効に設定してください。

設定の詳細は製品のマニュアルをご覧ください。

Epson Device Adminを使ったユーザーレポート

Epson Device Adminを使用してEpson Print Admin Serverlessのレポートをグループやユーザーごとに作成できます。レポートの作成には、レポートの期間を指定して作成する方法とスケジュールを設定して定期的に作成する方法があります。レポートの作成を始める前にデバイスグループを作成してください。

この設定項目は、Epson Print Admin Serverless 設定メニューを有効にすると表示されます。

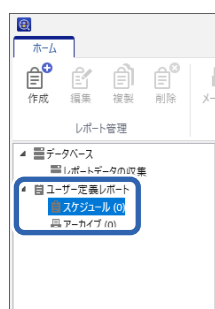
重要 プリンターに管理者パスワードを設定している場合は、Epson Device Adminの [オプション] - [パスワード管理] で同じパスワードを設定してください。
パスワード設定がされていないとプリンターからジョブ履歴を収集できません。

関連情報

➔ [「Epson Print Admin Serverless 設定メニューを表示する」 68ページ](#)

ユーザーレポートを生成する

1. サイドバタスクメニューで [レポート] を選択します。
2. ツリービューで [ユーザー定義レポート] - [スケジュール] を選択します。



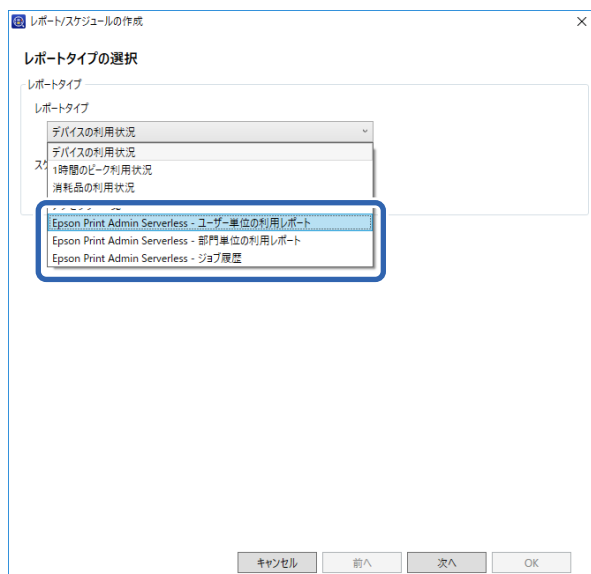
3. リボンメニューで [作成] をクリックします。

レポート作成ウィザードが表示されます。



4. レポートデータを収集する条件を以下から選択します。

[ユーザー単位の利用レポート] / [部門単位の利用レポート] / [ジョブ履歴]



5. 期間を指定してレポートを作成するか、スケジュールを設定して定期的に作成するかを選択します。

期間を指定してレポートを作成する場合： [スケジュールの作成] のチェックを外します。

スケジュールを作成する場合： [スケジュールの作成] をチェックします。

6. [次へ] をクリックします。

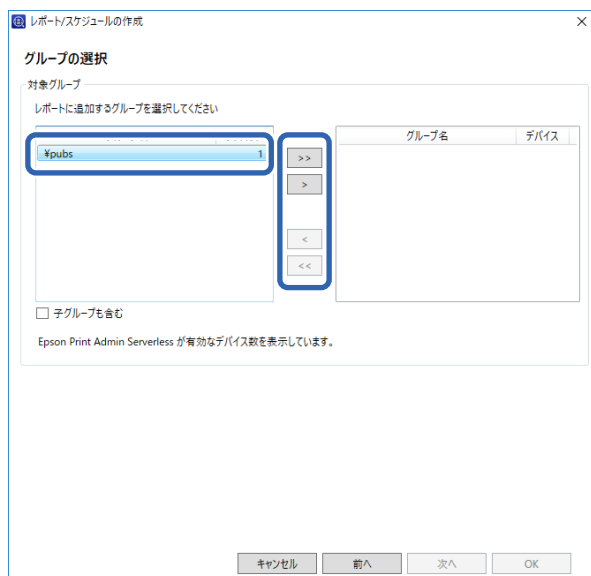
7. レポート対象のグループを選択します。

右の枠にリストされているグループが対象です。変更するには [>]、[>>]、[<]、[<<] を使ってグループを移動します。

[>]、[<] は選択したグループ、[>>]、[<<] は全てのグループを移動できます。

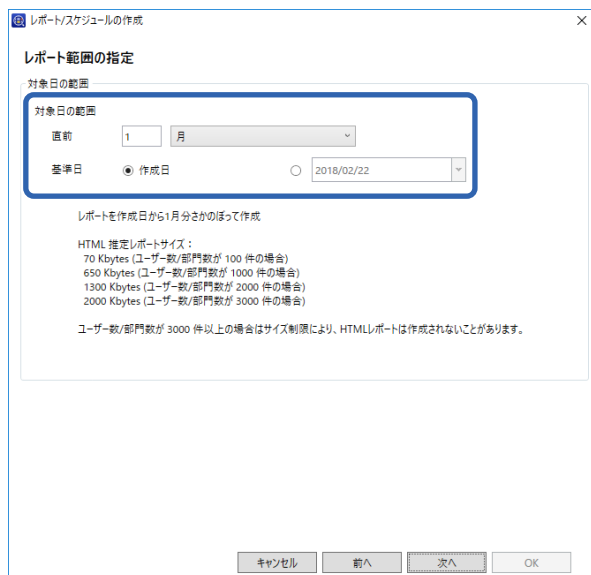
[子グループも含む] にチェックすると、グループを選択したときに子グループも自動的に選択します。

参考 認証方式で [みなし認証] を選択している場合や、印刷ジョブをプリンターに蓄積しないで印刷した場合、部門別の集計はできません。



8. [次へ] をクリックします。

9. レポートの対象期間を設定します。



以下を参照して設定してください。

項目	説明
対象日の範囲	レポートの作成日または指定した日を基点とした期間を指定します。1 以上の数字と日 / 週 / 月 / 年の単位の組み合わせで指定してください。

10. [次へ] をクリックします。

11. レポート通知メールを設定します。

レポートスケジュールの作成

送信先の指定

通知方法

方法

アーカイブのみ メールとアーカイブ

メール通知設定

メールアドレス

履歴から選択

メール件名

ファイルフォーマット PDF HTML CSV

キャンセル 前へ 次へ OK

以下を参照して設定してください。

項目	説明
方法	メールで通知するかどうか指定します。
メールアドレス	レポートを通知するメールの宛先を入力します。 複数の宛先を入力する場合は；で区切ります。 区切りの文字を合わせて32767 バイトまで入力できます。宛先は全て To になります。 CC、BCC は設定できません。
メール件名	レポートを通知するメールの件名です。256 文字まで入力できます。
ファイルフォーマット	レポートのファイル形式です。PDF、HTML、CSV から選択します。 [ジョブ履歴] のレポートはCSVのみ指定できます。

12. [次へ] をクリックします。

13. レポートの名前を設定します。

レポート名は Unicode で表すことができる文字1024文字以内で入力してください。

レポートスケジュールの作成

レポート名の指定

レポート名
レポート名を入力してください。

Epson Print Admin Serverless - ユーザー単位の利用レポート

キャンセル 前へ 次へ OK

14. [次へ] をクリックします。

15. スケジュールを設定します。



- 手順 5 で [スケジュールの作成] のチェックを外すと、この画面は表示されません。
- [作成スケジュール] の [開始日時] の時間は、データ収集の時刻よりも後の時刻に設定してください。データ収集時刻の前に設定すると、レポート対象期間の最終日分のデータ収集が始まる前にレポートが作成されます。

レポートスケジュールの作成

スケジュールの指定

作成スケジュール

開始日時
2018/02/22 12:00

終了日
 終了日時 終了日 2019/02/21

レポート周期
レポート周期
1回のみ

レポートは、2018/02/22 12:00に作成されます。

キャンセル 前へ 次へ OK

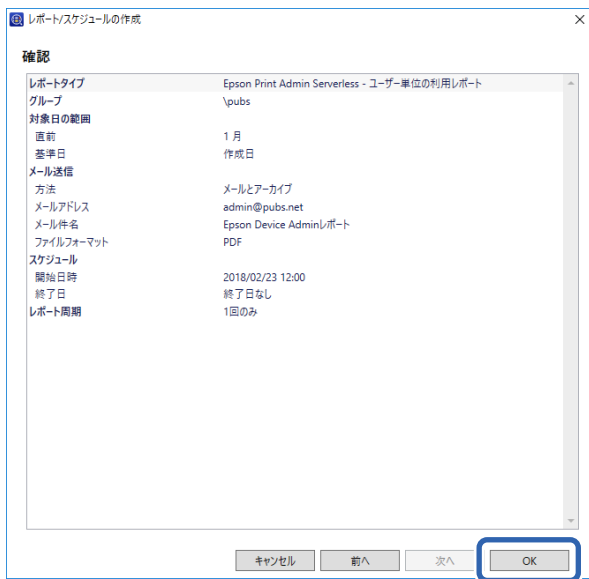
以下を参照して設定してください。

項目	説明
開始日時	スケジュールを開始する日時を設定します。設定できる単位は 1 分です。

項目	説明
終了日	スケジュールを終了する日時を設定します。 終了日を設定しない場合は [終了日なし] を選択します。
レポート周期	レポートを作成する期間の単位を設定します。

16. [次へ] をクリックします。

17. [OK] をクリックします。



レポートまたはスケジュールが作成されます。作成されたレポートは、アーカイブレポートとして保存されます。

レポート出力の項目

レポートでは以下の項目が出力されます。

ユーザー単位の利用レポート

日付/ジョブID/操作/ユーザーID/部門/処理結果/処理結果詳細/ジョブ名/印刷: ユーザー名/印刷: 用紙サイズ/印刷: 両面/印刷: カラー/印刷: 面数/スキャン: 宛先種別/スキャン: 宛先/スキャン: 用紙サイズ/スキャン: 両面/スキャン: カラー/スキャン: 面数/コピー: 用紙サイズ/コピー: 両面/コピー: カラー/コピー: 面数/ファクス受信: 用紙サイズ/ファクス受信: 両面/ファクス受信: カラー/ファクス受信: 面数/デバイス: 機種/デバイス: IPアドレス/デバイス: 製造番号/デバイス: 部門/デバイス: 設置先名/デバイス: 備考/デバイス: 備考2

部門単位の利用レポート

部門/ページ数小計/印刷カラー片面/印刷カラー両面/印刷モノクロ片面/印刷モノクロ両面/コピーカラー片面/コピーカラー両面/コピーモノクロ片面/コピーモノクロ両面/ファクス送信/スキャン/ファクス受信

参考 認証方式で [みなし認証] を選択している場合や、印刷ジョブをプリンターに蓄積しないで印刷した場合、部門別の集計はできません。

ジョブ履歴

ユーザーID/部門/ページ数小計/印刷カラー片面/印刷カラー両面/印刷モノクロ片面/印刷モノクロ両面/コピーカラー片面/コピーカラー両面/コピーモノクロ片面/コピーモノクロ両面/ファクス送信/スキャン/ファクス受信

Epson Device Adminを使ったプリンターの管理

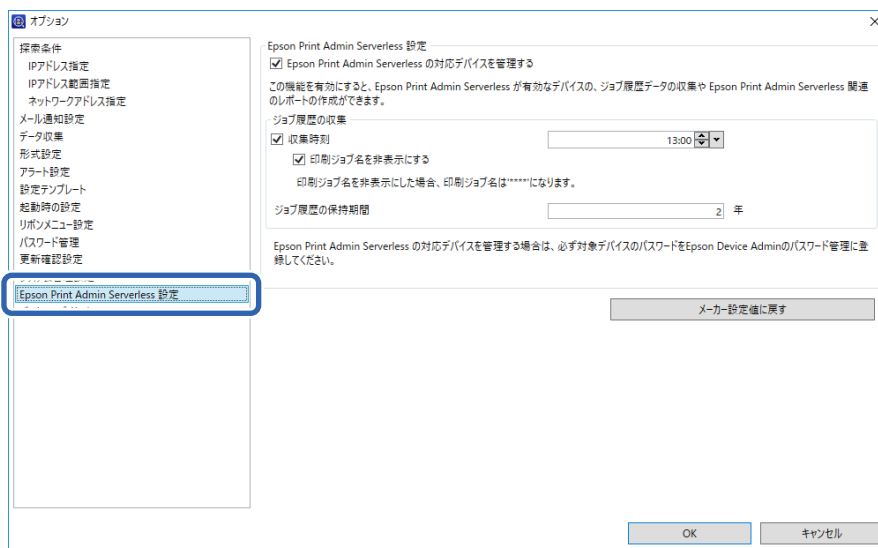
Epson Device Adminを使ってプリンターの管理をすることができます。

Epson Print Admin Serverless 設定メニューを表示する

Epson Print Admin Serverlessに関する設定メニューを表示します。デフォルトでは表示しないように設定されています。

- ！重要** プリンターに管理者パスワードを設定している場合、先にパスワード設定を行ってください。
1. デバイス一覧を表示し、[オプション] - [パスワード管理] を選択します。
 2. [自動パスワード管理機能を有効にする] を選択して [パスワード管理] をクリックします。
 3. 該当するプリンターを選択して [編集] をクリックします。
 4. パスワードを設定して、[登録/更新] をクリックします。

1. Epson Device Adminを起動します。
2. リボンメニューで [オプション] をクリックし、[Epson Print Admin Serverless 設定] を選択します。



3. 各項目を設定します。
4. [OK] をクリックします。

Epson Print Admin Serverless設定

項目	説明
Epson Print Admin Serverless の対応デバイスを管理する	<p>チェックを付けると、Epson Print Admin Serverlessに関する設定項目を有効にし、以下の操作や設定ができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> Epson Print Admin Serverlessが有効のプリンターのジョブ履歴データ収集 Epson Print Admin Serverless関連レポートの生成 リボンメニューの【機器利用ユーザーの編集】ボタンの表示
収集時刻	<p>チェックを付けると、Epson Print Admin Serverlessが有効なプリンターのジョブ履歴のデータを収集する時刻を設定できます。</p>
印刷ジョブ名を非表示にする	<p>チェックを付けると、ジョブ履歴に記録される印刷ジョブ名を伏せ字にできます。印刷ジョブ名を表示したくない場合に設定します。</p>
ジョブ履歴の保持期間	<p>Epson Device Adminがジョブ履歴を保持している期間を最長5年まで設定できます。保持期間が過ぎたジョブ履歴は削除されます。</p>

ユーザー情報のメンテナンス

本体に登録されているユーザー情報をメンテナンスできます。

個別に編集する

1. デバイス一覧からユーザー情報をメンテナンスするプリンターを選択します。

The screenshot displays the Epson Device Admin interface. In the top navigation bar, the '機器利用ユーザーの編集' (Edit Machine User) button is highlighted with a blue box. The main area shows a table of devices with the following columns: 機種 (Model), MACアドレス (MAC Address), IPアドレス (IP Address), 製造番号 (Serial Number), and ステータス (Status). A device is selected, and its details are shown on the right side of the screen, including 製造元 (Manufacturer), 機種 (Model), ホスト名 (Host Name), MACアドレス (MAC Address), IPアドレス (IP Address), 収集日時 (Collection Date), 収集日時(UTC) (Collection Date (UTC)), メモリーサイズ (Memory Size), 両面印刷ユニット (Duplex Unit), 側面MPトレイ (Side MP Tray), カセット1-4 (Cassettes 1-4), FAX, 接続形態 (Connection Type), 登録日時 (Registration Date), and various status codes like ステータス (Status), エラー (Error), and ステータスコード (Status Code).

2. リボンメニューから [設定] - [機器利用ユーザーの 編集] を選択します。

ユーザー一覧が表示されます。

3. 編集したいユーザーを選択します。

参考 [検索] で検索したい項目を選択してキーワードを入力し、[実行] をクリックするとユーザー一覧から検索ができます。
[クリア] をクリックすると入力した値をクリアできます。

4. [編集] をクリックします。

ユーザー情報が表示されます。

5. 各項目を編集し、[OK] をクリックします。

ユーザー編集

ユーザーID:

ユーザー表示名:

パスワード:

認証カードID:

ID番号: デバイスで自動生成する

部門:

メールアドレス:

6. [送信] をクリックします。

送信確認画面が表示されます。

Epson Device Admin

ユーザー設定

検索: ユーザーID

件数:

ユーザー一覧

番号	ユーザーID	ユーザー表示名	部門	メールアドレス
0001	epson001	epson001	epson pubs	epson001@pubs.net
0002	epson002	epson002	epson pubs	epson002@pubs.net
0003	epson003	epson003	epson pubs	epson003@pubs.net
0004	epson004	epson004	epson pubs	epson004@pubs.net
0005	epson005	epson005	epson pubs	epson005@pubs.net
0006	epson006	epson006	epson pubs	epson006@pubs.net
0007	epson007	epson007	epson pubs	epson007@pubs.net
0008	epson008	epson008	epson pubs	epson008@pubs.net
0009	epson009	epson009	epson pubs	epson009@pubs.net
0010	epson010	epson010	epson pubs	epson010@pubs.net
0011				
0012				
0013				
0014				
0015				
0016				
0017				
0018				

<< < 1 / 20 > >>

7. 送信確認画面で [OK] をクリックします。

8. 完了画面で [OK] をクリックします。

7. 保存されたCSVファイルを表計算ソフト（Microsoft Excelなど）やテキストエディターなどで編集し、保存します。

！重要 ファイル編集するとき、エンコードやヘッダーの情報を変更しないでください。インポートできなくなることがあります。

8. [インポート] をクリックします。
9. [インポート元] で [CSV/ENEファイル] を選択します。



10. [参照] をクリックします。
ファイル選択画面が表示されます。
11. インポートするファイルを選択して [開く] をクリックします。
12. インポート方法を選択します。
- 上書き、追加する：同じユーザーIDがある場合は上書きし、ない場合は追加します。
 - 全て置き換える：インポートするユーザー情報に全て置き替えます。
13. [OK] をクリックします。
確認画面が表示されます。
14. [OK] をクリックします。
読み込み内容の検証が始まり、結果を表示します。
- 参考** [有効なユーザー数] をクリックするとユーザー情報の削除画面が開きます。ユーザー情報を選択して [削除] をクリックすると、インポート前にユーザー情報を削除できます。
15. [インポート] をクリックします。

エクスポート形式

項目	説明
CSVファイル UTF-16 (*.csv)	Unicode (UTF16) にエンコードされた、タブ区切りのCSVファイルにエクスポートします。

項目	説明
CSVファイル UTF-8(*.csv)	Unicode (UTF8) にエンコードされた、カンマ区切りまたはセミコロン区切りのCSVファイルにエクスポートします。区切り記号は、[オプション] - [形式設定] の [CSVデータ区切り] で設定できます。
バイナリーファイル (*.ene)	ENEファイルにエクスポートします。パスワードの設定ができます。暗号化したバイナリーファイルなので、編集できません。

Web Configを使ったプリンターの情報確認

Web Configを使って、プリンターの情報を確認できます。

メール通知とスナップショット

メール通知と画面のスナップショットを使うと離れたところにあるプリンターの状態を確認できます。

メール通知の概要

印刷の停止やプリンターエラーなど、プリンターにイベントが発生したときに、指定したアドレスにメールで通知する機能です。

宛先は5つまで登録でき、それぞれに受け取りたい通知を設定できます。

この機能を使うには、設定前にメールサーバーの設定が必要です。

設定の詳細は製品のマニュアルをご覧ください。

The screenshot shows the Epson Web Config interface for email notification settings. The page title is "メール通知" (Email Notification). A sidebar on the left lists various settings categories like "パネル", "省電力", "認証装置", etc. The main content area is titled "メール通知" and includes a sub-header "メール通知を使用するには事前にメールサーバー設定を行ってください。" (To use email notification, please set up the email server in advance.)

The settings are organized into three sections:

- 件名設定 (Subject Setting):** Includes a text field for "件名: <(状態)> <[プリンター型番]>" and dropdown menus for "状態" and "プリンター型番".
- 宛先設定 (Recipient Setting):** Includes a note "設定された宛先に、選択した言語のメールを送信します。" (Send email to the designated recipient in the selected language.) and five rows for "宛先 1" through "宛先 5", each with a text input field and a language dropdown menu (all set to "日本語").
- 通知設定 (Notification Setting):** Includes a note "チェックを付けた項目の状態のときにメールを送信します。" (Send email when the status of the checked item occurs.) and a table for selecting notification events.

The notification selection table is as follows:

	宛先				
	1	2	3	4	5
トナー残量限界値以下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
トナー残量少	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
画面に「ポッドオフ」表示時	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

At the bottom, there are two buttons: "設定" (Settings) and "購入時の設定に戻す" (Restore factory settings).

遠隔地にあるプリンターのパネル表示を確認する

Web Configを使って遠隔地にあるプリンターのパネル表示を確認できます。

1. 確認したいプリンターのWeb Configを起動します。

メール通知を受け取っている場合は、メールに記載されているURLからWeb Configを起動できます。

2. 【情報確認】タブ - 【パネルのスナップショット】の順に選択します。

プリンターの現在のパネルがWeb Configに表示されます。

更新する場合は、【最新の状態へ更新】をクリックします。



関連情報

➔ [「Web Configの起動」 10ページ](#)

印刷ジョブを削除する

プリンター本体に蓄積されている印刷ジョブを削除できます。

1. Web Configで [Epson Open Platform] タブ - [Epson Print Admin Serverless] - [印刷ジョブ] を選択します。



2. [削除] をクリックします。

関連情報

➔ [「Web Configの起動」 10ページ](#)

設定のバックアップ

Web Configの設定やEpson Device Adminの設定テンプレートをバックアップできます。

！重要

- ライセンスキーはエクスポートでバックアップできません。テキストファイルやメモなどで記録しておくことをお勧めします。
プリンターを入れ替えた場合は同じライセンスキーを使用できません。その場合、販売店にご相談ください。
- Epson Print Admin Serverlessの設定をバックアップするには、ライセンスキーが設定されている状態でエクスポートしてください。

Web Config設定

Web Configで設定した設定値をファイルにエクスポートできます。アドレス帳や設定値のバックアップ、プリンターの置き換え時などに利用できます。バイナリーファイルでエクスポートされるので編集できません。

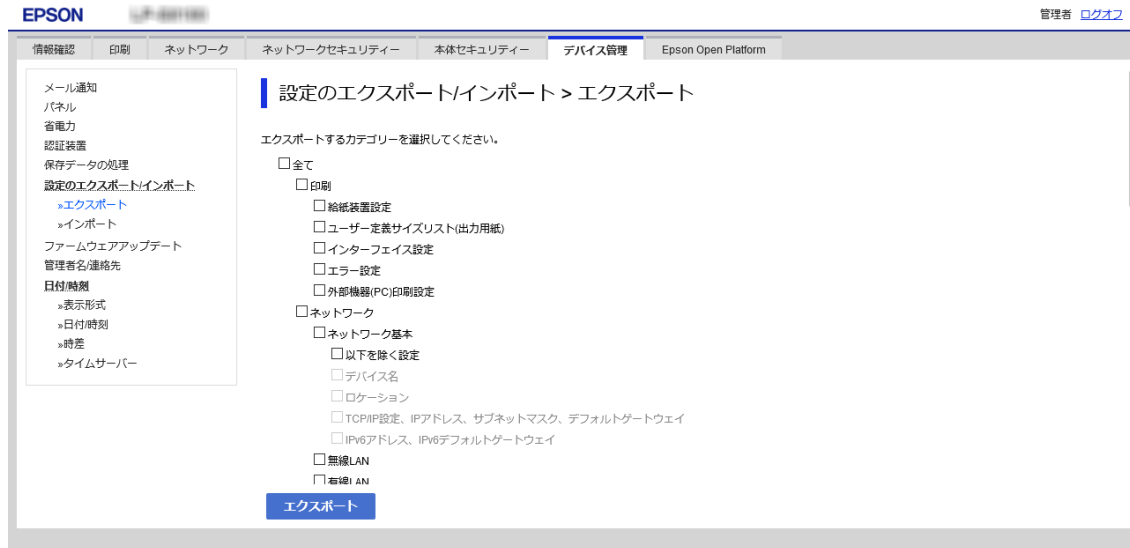
設定をエクスポートする

プリンターの設定値をエクスポートします。

1. Web Configで [デバイス管理] タブ - [設定のエクスポート/インポート] - [エクスポート] を選択します。

2. エクスポートしたい設定を選択します。

チェックが付いた項目の設定値がエクスポートされます。親のカテゴリを選択すると、子のカテゴリが同時に選択されます。ただし、IPアドレスなどネットワーク内に同じ設定値が複数あるとエラーになる項目は選択できないようになっています。



3. エクスポートファイルを暗号化するために任意のパスワードを入力します。

ここで指定したパスワードはインポートするときに必要になります。パスワードを指定しない場合は何も入力しません。

4. [エクスポート] をクリックします。

！重要 デバイス名やIPv6アドレスなどのネットワーク情報を含めてエクスポートしたいときは「本体ごとの個別設定を選択可能にする」にチェックを付けて、項目を選択してください。なお、この項目をチェックしてから選択した設定値は、プリンターの置き換え時のみにお使いください。

関連情報

➔ [「Web Configの起動」10ページ](#)

設定をインポートする

Web Configの設定ファイルをプリンターにインポートします。

！重要

- ライセンスキーは設定ファイルに含まれません。Epson Print Admin Serverlessが無効になっている場合は、インポートする前に「Epson Open Platform」タブ - 「プロダクトキー/ライセンスキー」でプロダクトキーを入力して、Epson Print Admin Serverlessを有効にしてください。
- プリンター名やIPアドレスなどの個別情報を含む設定値をインポートするときは、同一のネットワーク内に同じIPアドレスを持つプリンターが存在しないことを確認してください。IPアドレスが重複する場合は、インポートしても内容は反映されません。

1. Web Configで「Epson Open Platform」タブ - 「プロダクトキー/ライセンスキー」を選択し、「プロダクトキー/ライセンスキー」にライセンスキーを入力します。

2. [デバイス管理] タブ - [設定のエクスポート/インポート] - [インポート] を選択します。
3. エクスポートされたファイルを選択し、暗号化パスワードを入力します。
4. [次へ] をクリックします。
5. インポートする設定を選択して [次へ] をクリックします。
6. [設定] をクリックします。
設定がプリンターに反映されます。

関連情報

- ➔ [「Web Configの起動」 10ページ](#)

Epson Device Admin設定テンプレート

設定テンプレートをファイルに保存、読み込みできます。

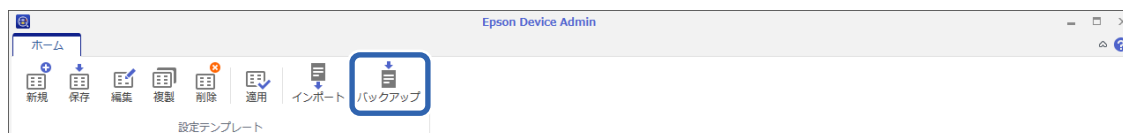
デバイスリストやプリンター情報などのバックアップについては、Epson Device Adminのマニュアルをご覧ください。

設定テンプレートをバックアップする

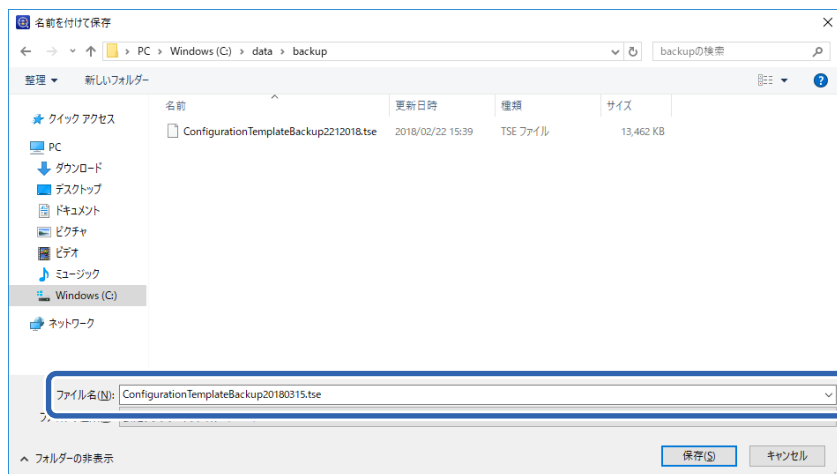
1. サイドバータスクメニューで [設定] を選択します。
2. テンプレートリストからバックアップする設定テンプレートを選択します。
プリセットの設定テンプレートは選択できません。

参考 複数のプリンターやグループを選択するときは、[Ctrl] または [Shift] を押したままクリックして選択してください。

3. リボンメニューで [バックアップ] をクリックします。



4. 保存場所を選択してファイルに名前を付けます。



5. [保存] をクリックします。

TSE 形式のテンプレートファイルが Zip でまとめて保存されます。

設定テンプレートをインポートする

あらかじめ設定テンプレートがまとめられている Zip ファイルを解凍して、設定テンプレートファイル（TSE 形式）を取り出してください。

1. サイドバースタスクメニューで [設定] を選択します。
2. リボンメニューから [インポート] をクリックします。
ファイルインポートの画面が表示されます。



3. インポートする設定テンプレートファイル（TSE 形式）を選択します。
4. [開く] をクリックします。
設定テンプレートがインポートされ、結果が表示されます。
5. [OK] をクリックします。

Epson Print Admin Serverlessの無効設定

Epson Print Admin Serverlessの設定を無効にします。

重要 Epson Print Admin Serverlessを無効にしてから再度有効にすると、設定されていた値が初期化されます。無効にする前に設定のバックアップをお勧めします。

関連情報

➔ [「設定のバックアップ」75ページ](#)

Web Configから無効にする

Web Configを使って、Epson Print Admin Serverlessのライセンスを無効にできます。

1. Web Configで [Epson Open Platform] タブ - [プロダクトキー/ライセンスキー] を選択します。
2. [プロダクトキー/ライセンスキー] のプロダクトキーを削除します。

3. [次へ] をクリックします。

設定内容が表示されます。

4. [設定] をクリックします。

設定がプリンターに送信され、通信が遮断されます。しばらくたってからブラウザの画面を更新します。

5. [Epson Open Platform] タブ - [プロダクトキー/ライセンスキー] を選択します。

[ライセンス情報 (Epson Print Admin Serverless)] の下階層の [Epson Open Platform設定] が非表示になっていればEpson Print Admin Serverlessは無効です。

参考

- 本体に蓄積されている印刷ジョブは全て削除されます。ユーザー情報、ログはEpson Print Admin Serverlessが無効になっても保持しています。これらはプリンター設定を工場出荷時の設定に戻すと削除できます。
- Windowsの場合、プリンタードライバーで以下の設定をしてください。
 [コントロールパネル] - [デバイスとプリンターの表示] を選択し、プリンターのアイコンを右クリックして [プリンターのプロパティ] を選択します。
 [オプション設定] タブを選択します。
 [プリンター情報] の [プリンターから取得] にある [取得] をクリックします。
 [Epson Print Admin Serverless] が [無効] になったことを確認します。

関連情報

➔ [「Web Configの起動」 10ページ](#)

困ったときは

認証カードが読めない

以下を確認してください。

- 認証装置がプリンターに正しく接続されているか
認証装置は必ずプリンターのサービス用ポートに接続してください。
- 動作確認している認証装置や認証カードかどうか
動作確認している認証装置や認証カードは販売店にお問い合わせください。

Web Configを開けない

以下を確認してください。

- 入力したプリンターの IP アドレスが正しいか
IP アドレスはプリンターの操作パネルやネットワーク接続診断、ステータスシートなどで確認できます。詳細はプリンターのマニュアルをご覧ください。
- ネットワーク接続診断をしてプリンターがネットワークに接続されているか
ネットワーク診断の詳細はプリンターのマニュアルをご覧ください。

Epson Print Admin Serverlessを有効にできない

Web ConfigやEpson Device Adminで正しいライセンスキーを入力したか確認してください。

ライセンスキーが期限切れと表示される

ライセンスキーの有効期間内で、ライセンスキーの期限が切れていると表示される場合、プリンターの時刻設定が正しいか確認してください。

ライセンスの有効期間は販売店へお問い合わせください。

Epson Device Adminのレポートに内容がない

Epson Device Adminでユーザー単位の利用レポートや部門単位の利用レポート、ジョブ履歴のレポートに内容がない場合、以下を確認してください。

- プリンターに管理者パスワードを設定している場合：
[オプション] - [パスワード管理] でパスワード設定を行ったか
パスワード設定がされていないとプリンターからジョブ履歴を収集できません。

困ったときは

- プリンターで管理者パスワードを変更した場合：
[オプション] - [パスワード管理] で設定したパスワード更新したか
- Epson Print Admin Serverlessのライセンスキーが、Epson Device Adminで認識されているか
以下の手順でライセンスの状態を確認してください。
 1. Epson Device Adminを起動して、デバイスリストから対象のプリンターを選択します。
 2. デバイス詳細情報の[Epson Print Admin Serverless] - [ライセンスの種類] の表示を確認します。
設定したにもかかわらずライセンスキーが認識されていない場合は、リボンメニューで[全てのデバイス] または [選択したデバイス] をクリックしてデータ取得を実行してみてください。
- 認証方式で[みなし認証] を選択している場合や、印刷ジョブをプリンターに蓄積しないで印刷した場合、部門別の集計はできません。

付録

プリンターのセキュリティー機能

エプソン製プリンターにはさまざまなセキュリティー技術が搭載されています。お客様の情報環境での条件に合わせて、必要なセキュリティー設定をしてください。設定の詳細は製品のマニュアルをご覧ください。

機能名	どんな機能が	何を設定するのか	何を防止できるのか
SSL/TLS通信	ブラウザ経由でのコンピューターとの通信やEpson Connect、ファームウェアアップデートなどプリンターからインターネット上のエプソンサーバーにアクセスするような場合に通信内容がSSL/TLS通信で暗号化されます。	CA署名証明書をCA局から取得し、プリンターにインポートします。	CA署名証明書によってプリンターの身分が明確になることで、なりすましや不正アクセスを防げます。また、通信内容がSSL/TLSによって保護されるため、設定情報や印刷データ内容の漏えいが防げます。
プロトコルの制御	プリンターやコンピューター間の通信で使用するプロトコルやサービスを制御して、機能を有効、無効にします。	機能に対応したプロトコルやサービスを個別に許可、禁止します。	不要な機能を使用できなくすることで、意図されない利用によるセキュリティーリスクを軽減できます。
IPsec/IPフィルタリング	特定のクライアントからのデータや、特定の種類のデータだけを通過、遮断する設定ができます。IPsecはIPパケット単位で保護（暗号化および認証）するため、セキュアでないプロトコルも安全に通信できます。	基本ポリシー、個別ポリシーを作成し、プリンターにアクセスできるクライアントやデータの種類を設定します。	プリンターへの不正アクセス、通信データの傍受や改ざんを防止できます。
IEEE802.1X	無線LAN や有線LAN へ認証された利用者だけに接続を許可します。許可された利用者だけがプリンターを使用できるようにします。	RADIUS サーバー（認証サーバー）への認証設定をします。	不正なプリンターへのアクセスや使用を防止できます。

参考 WSD印刷はデフォルトで有効になっています。認証印刷を使用する場合、WSD印刷を無効にすることをお勧めします。WSD印刷はプロトコルを制御することで無効にできます。設定の詳細は製品のマニュアルをご覧ください。

プリンターに記録されるユーザー情報

プリンターに記録されるユーザー情報と削除方法は以下の通りです。

付録

情報	削除方法	データ格納場所
Epson Print Admin Serverless ユーザー設定 <ul style="list-style-type: none"> ユーザーID ユーザー表示名 パスワード 認証カードID 部門 	プリンターの操作パネル - [本体設定] - [管理者用設定] - [初期設定に戻す] - [全ての設定]	データ格納場所： フラッシュメモリー
	Web Config - [Epson Open Platform] タブ - [Epson Print Admin Serverless] - [ユーザー設定]、[全削除]、[削除]	
	Web Config - [Epson Open Platform] タブ - [プロダクトキー/ライセンスキー] Epson Open Platformのプロダクトキーを入力する	
Epson Print Admin Serverless ログ	プリンターの操作パネル - [本体設定] - [管理者用設定] - [初期設定に戻す] - [全ての設定]	データ格納場所： <ul style="list-style-type: none"> フラッシュメモリー ハードディスク
Epson Print Admin Serverless 蓄積印刷ジョブ	プリンターの操作パネル - [本体設定] - [管理者用設定] - [初期設定に戻す] - [全ての設定]	データ格納場所： ハードディスク
	プリンターの操作パネル - [本体設定] - [管理者用設定] - [HDD消去設定] - [メモリー全消去]	
	プリンターの操作パネル - [本体設定] - [管理者用設定] - [セキュリティ設定] - [本体メモリー内のジョブの全削除]	
	Web Config - [Epson Open Platform] タブ - [Epson Print Admin Serverless] - [印刷ジョブ]、[印刷ジョブの全削除]、[全削除]	

商標

- EPSONおよびEXCEED YOUR VISIONはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- Chrome、Chrome OS、AndroidはGoogle Inc.の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Apple、macOS、OS X、Bonjour、Safariは米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- 通則：本書に記載されているその他の製品名は各社の商標または登録商標です。エプソンはそれらの商標または登録商標には一切関与していません。

© 2021 Seiko Epson Corporation.